

THE MONTHLY REPORT

OF

SEITO JITSUGYO KIOKWAI.

MARCH 1919 No. 15.

大 正 八 年 參 月

青 島 實 業 協 會

月 報

第 拾 五 號

大正七年八月十九日第三種郵便物認可 (每月一回二十日發行)
大正八年三月二十日發行

△本號要目▽

△統	△倫	△法	△主	△金	△海	△貿	△資	△協
	敦		要		運			會
	銀		貿		及			錄
	塊		易		鐵			
	相		品					
			商					
計	場	規	況	融	道	易	料	事

▽青島實業協會月報 第拾五號 目次▲

協會錄事

□二月例會.....	一
□三月例會.....	一
□小麥問題臨時會.....	二

資料

□棉花の現在及將來.....	三
□青島に於ける大正七年中綿絲布概況.....	八
□昨年度銀市場概況.....	一三

金融

□銀塊並爲替相場(一月中).....	一六
□同上(二月中).....	一六

貿易

□青島貿易近況(十二月).....	一七
□一月中の青島貿易.....	一九
□主要貨物情勢(一月中).....	一九

海運及鐵道

□青島最近出入船舶(十二月中).....	二〇
□青島航路好況.....	二〇
□內地復航運賃値下.....	二一
□大連船腹集中.....	二一
□內地傭船運賃近況(一月中).....	二一
□三驛發著主要貨物情勢(一月中).....	二一
□一月中出入船舶.....	二三
□內地傭船運賃近況(二月中).....	二三
□三驛發著主要貨物情勢(二月中).....	二三
□青島港出入汽船細別表(一月中).....	二四

主要貿易品概況

□綿絲布 □砂糖 □燐寸 □米 □材木 □紙類 □落花生實 □落花生油 □石炭 □棉花 □牛肉 □鹽
□牛皮 □牛骨 □コークス □桐材 □小麥(以上一月中) □綿絲布 □砂糖 □燐寸 □石油 □煙草
□米 □紙類 □材木 □木炭 □落花生實 □落花生油 □棉花 □石炭 □コークス □鹽 □牛皮 □牛
骨 □牛肉 □小麥(以上一月中)

法 規

□青島商品陳列館規程

倫敦銀塊相場

□一月中表示
□二月中表示

寄 贈 書 類

□一月及二月中到著の分

統 計 表 類

□埠頭陸上船積貨物 □輸出入貿易 □青島三驛發著貨物數量 □埠頭陸揚貨物噸數仕出地別 □埠頭船積貨物
噸數仕向地別 □出入汽船及積卸貨物數量 □出入汽船仕出仕向地別 □入港汽船揚荷噸數國籍別 □出入船舶
旅客表 □青島大港兩驛乘降客人員 □青島屠場屠殺數

青島實業協會月報 第拾五號

協會錄事

二月例會

二月例會は豫定の如く十日午後六時市民會内に開會、出席會員二十六名左の如し(順序不定)

橫濱正金銀行出張所

吉澤洋行

梶野洋行

鈴木商店出張所

山田出張所

日本棉花會社出張所

三菱商事會社出張員

安部幸兵衛商店出張店

朝鮮銀行支店

江商株式會社支店

伊藤忠合名會社支店

三井物產會社出張所

大連汽船會社出張所

南滿洲鐵道會社埠頭事務所

茂木合名會社出張所

日本郵船會社出張事務所

湯淺貿易會社出張所

峯村洋行

福昌公司出張所

大倉商事會社出張所

泰利商會

大日本麥酒會社出張所

内外棉會社出張所

和盛公司

青島製粉會社

東洋鹽業會社支店

例に依り晚餐を共にしたる後少時休憩、午後七時會議を開き幹事峯村正三氏より左記逐次報告せり

一、芥川光藏氏轉任の件

一、西村義郎氏著任の件

一、金子慶治氏夫人死去に付弔電及香料の件

一、兒玉氏來青金融研究會の件

一、中野前青島民政署長見送の件

右報告後、新入會員承認の可否採決に移り承認可否意思表示は新に議決したる白球黒球の兩石球を一定の函に投入し白球を以て承認の表示黒球を以て否認の表示とし先づ

○南昌洋行青島出張所(代表者中村道三君)

は紹介者より其の事業の概要を述べ採決に移る、開函の結果最多數の白球を以て承認せり、次に

○山東運輸株式會社(代表者神谷竹松君)

も紹介者より同會社の概要を述べ採決の結果、白球多數、即ち承認に決せり

右採決終つて月番幹事順番抽籤に移り別表の如く抽籤を見たり此の日缺席の分は當番幹事代つて抽籤せり而して大正九年六月分は一名缺員なるもコハ追て新入會員中より抽籤補缺のこと、せり

此の外重要問題に就き討論審議數刻を費し午後十時二十分散會せり

三月例會

三月例會は十日午後六時市民會内に開會、出席員左の如し

出席會員(順序不定)

橫濱正金銀行出張所

吉澤洋行

中村組支店

東亞煙草會社販賣所

鈴木商店出張所

日本棉花會社出張所

安部洋行

朝鮮銀行支店

伊藤洋行

三井物產會社出張所

大連汽船會社出張所

南滿鐵埠頭事務所

日本郵船會社出張事務所

湯淺貿易會社出張所

福昌公司出張所

神戸棧橋會社出張所

青島製粉會社支店

泰利商會

大日本麥酒出張所

内外棉會社出張所

例に依り晚餐を共にし親交數時、終て議事に移り幹事(朝鮮銀行青島支店片桐篤太郎氏)より新入會員を紹介の筈なりしも何れも缺席に付東亞煙草會社青島販賣所長西村義郎氏過日著任代表者として本夕出席を見たりと紹介、西村氏自席より起て簡單に挨拶する所あり、次で幹事は先般グラントホテルに於ける茶話會の盛況を呈したる件及び青島商品陳列館評議員に三井物産の飯塚重五郎氏を推薦したる件等を報告し、日本郵船會社の西岡勝三郎氏は運動部幹事として今回運動部が泰山行を計畫したる件及び來るべき官民運動會に對する件等を略述せり此の外講和と青島處分問題に關する各項審議研究の件は本夕も猶繼續夫々協議する所あり、終て雜談午後九時半散會せり

次回月番幹事(自三月十一日至四月十日)

山田出張所 代表者 山田三平君

吉澤洋行 同 吉澤干城君

小麥問題臨時會

新に起りたる小麥及び麥粉の海外輸出解禁期限問題に關する民政部よりの照會之に對する協會の意見及び濟南實業協會よりの電照之に對する返電に就き三月十五日午後三時市民會内に臨時會を開く、出席者左の如し(順序不定)

橫濱正金銀行出張所 吉澤洋行

鈴木商店出張所 山田出張所
三菱商事出張員 安部幸商店出張店
伊藤忠商事會社支店 三井物産會社出張所
大連汽船會社出張所 茂木合名會社出張所
湯淺貿易會社出張所 峯村洋行
福昌公司出張所 青島製粉會社支店
新利洋行

幹事(吉澤洋行代表者吉澤干城氏)開會を宣すると共に民政部よりの照會及び濟南實業協會よりの電報を略述、之に對する協會の意見を取纏めたと結ぶ、本件は青島貿易上重要問題なるを以て各員慎重に協議を終へ大體左記の如く意見成れり

意見

山東產小麥及び麥粉の海外輸出解禁は先づ十萬噸を限度とし無期限輸出差支なきこととなり青島貿易發展上頓る欣ぶべきものあると共に青島及び濟南の日支當業者は之が商取引並に海外輸出に熱心努力せしも遺憾ながら昨年十月解禁を見たる節は既に出廻期を越わたると銀高及び日本内地相場との不引合等にて今日迄の輸出高約五萬噸を見たるも本年は銀價、内地相場、船腹船賃及び出廻期前の商取引關係等に徴し昨年よりは輸出方有利の地位に在るものと信するが故に山東產小麥及び麥粉の輸出は初定通り無期限とし且又十萬噸に達したる場合は生産地實情を精査の上差支なくば相當數量追加を見るは青島貿易發展の爲め最も切要なる事と信す

而して護照料前納問題等に關しては山田領事館補出青の由なれば其の時民政部要路と共に會見して具體的に陳情附議することにし協會側の當務者として前小麥委員を復活することに決定、

小麥委員

三井物産株式會社青島出張所

飯塚重五郎

鈴木商店青島出張所

金子慶治

湯淺貿易株式會社出張所

小
森
乃

東和公司青島支店

三宅駿二

峯村洋行

峯村正三

幹事長 橫濱正金銀行青島出張所

太田保一郎

幹事 山田出張所

山田三平

同
吉澤洋行

吉澤干城

莫大小類共進會に關し米國

領事よりの書狀

北米合衆國費府に於て開催の莫大小類共進會に關し二月十二日
附當地米國領事より別紙の通り書狀に接せり

AMERICAN CONSULAR SERVICE

Tsingtau, China. February 12, 1919.

The T'ingtau Japanese Business Men's Association,

Tsingtau, China.

Gentleman :

Permit me to inform you that the National Association of Hosiery and Underwear Manufacturers in the United States announces that an exposition for the display and sale of hosiery, underwear and knitted goods will be held early in June in Philadelphia, Pennsylvania, U. S. A. The exposition will be held with the object of making arrangements for the

sale of these articles direct from the manufacturers to purchasers abroad without intermediaries, and the Association therefore telegraphs a cordial invitation to any foreign merchants interested in these lines to attend the exposition.

Very respectfully yours,

Willys R. Peck,

American Consul

(Without official status.)

資料

棉花の現在及び將來

左の一文は「主要工業原料の確保に關する案」中第二「棉花」に就き東京商業會

議所の調査記事に屬するものなり

○棉花の需要の現在及將來　現今我國に於ける棉花の需要は過去三箇年を平均するときは七億三千三百五十萬斤（全部繰綿に換算して）と概算せらる即ち之を五百封度俵に換算すれば大約二百萬俵となり世界に於ける棉花總產額の一割弱に相當す而して我國過去十年間の棉花需要増加率は約五割なるが故に若し同一の割合を以て増進するものとせば十年後の需要額は十億八百五十二萬斤即ち約二百九十萬俵となるの計算なれども今後我國に於ては専ら原棉を要すること比較的少き細糸紡績の發達を見るべきを以て棉花需要増加率は多少の減退を來すものとなさざる可からず今文明諸國一年一人當り原棉消費額を見るに千九百十一年乃至千九百十三年の三箇年の平均に於ては英國は四六、一
九封度米國は二八、七二封度我國は九、一四封度佛國は一、二、四

棉花輸入國別

	大正元年	大正二年	大正三年	大正四年	大正五年	大正六年
英領印度	三一九、八四六、四〇〇 _斤	四〇〇、一五九、四〇〇 _斤	四一四、二二七、八〇〇 _斤	四八九、六七八、二〇〇 _斤	五一三、〇一八、八〇〇 _斤	四四九、五一四、〇〇〇 _斤
北米合衆國	一八二、七二三、七〇〇	一七二、〇〇八、二〇〇	一三六、九六二、五〇〇	一六二、四六六、一〇〇	二二〇、六二三、一〇〇	一七〇、四九七、二〇〇
支那	六四、七二一、二〇〇	五四、二三一、一〇〇	四一、六五二、六〇〇	五七、一四八、三〇〇	六三、五五二、〇〇〇	六二、二六七、〇〇〇
埃及	一一、五九五、一〇〇	一二、四四八、九〇〇	一一、五五二、七〇〇	一〇、八三七、〇〇〇	一四、五四四、九〇〇	一二、〇八四、二〇〇
其他	一三、六七七、〇〇〇	一二、二七三、四〇〇	六、五五五、〇〇〇	三、〇〇一、四〇〇	一二、八四〇、五〇〇	三〇、三二五、四二〇
合計	五九二、五六三、四〇〇	六五一、二二一、〇〇〇	六一〇、九五〇、六〇〇	七二二、一三一、〇〇〇	八二三、五七九、三〇〇	六九七、六八七、八二〇

右の内印度棉は主として太糸紡績、米綿は細糸紡績、支那棉は大部分中入綿として用ひられ一部は綿糸の色を白くする爲め紡績會社に於て他種綿に混用せらる而して埃及棉は現今我國に於て使用せらるゝ棉花中品質最上のもにして専ら六十番手八十番手等の瓦斯系原料に供せらるゝ現狀にして其輸入數量は比較的僅少なれども飛行機翼及び自動車タイヤ等の原料たる細手綿糸の紡績に缺ぐべからざるものとす然らば棉花供給の將來は如何我國内地に於ける棉花の生産は氣溫の不足降雨の多量農業經營法の集約なる等の爲め將來多大の増加を期することを得ず然れども臺灣に於ける棉花栽培試験の結果は米國海島棉種の栽培に適すること證明せられ又朝鮮に於ては近時盛んに米國陸地棉種の栽培行はれ前途甚だ好望なり即ち朝鮮總督府の豫定計畫にして實現せられんか大正七年度に於ては陸地棉及び在來棉を合せて其栽培面積十萬町歩實棉收穫高一段歩百斤の計算として一億一千萬斤に上るべし而して大正八年度よりは更に棉作擴張第二期計畫の實施せらるゝ豫定にして其内容は調査中に屬し未だ確定せずと雖ども今後十年位に於て栽培面積約二十一萬町歩棉花收穫量陸地棉五九、八四六、四九〇斤在來棉繰綿二四、一

九五、二七五斤合計約八四、〇四一、七六五斤に達することを得べし之を米綿の如く一俵三七五斤に換算せば即ち二十二萬四千餘俵となる計算なり然れども朝鮮に於ける棉花栽培の最極度は面積に於て約三十萬町歩棉花收穫量に於て約一二〇、〇五九、六六四斤即ち三十二萬餘俵にして更に中村同總督府技師の言の如く一段歩當り收穫量を倍加することを得るものとせば朝鮮棉花の最極度産額は優に六十餘萬俵に達することを得べし素より諸種の事情ありて最極度の實現は至難なるべく縱令之を實現することを得且其産額全部を内地に移入するものと假定するも本邦棉花需要額の七割乃至八割は依然として之を外國の輸入に俟たざるを得ざるなり

●棉花の供給を確保するの策 現時我國に於ける棉花需要額の約九割四分は外國よりの輸入に待ち而して輸入額の約八割八分は英領印度及び北米合衆國に待つこと竝に埃及よりの輸入高は僅少なれども特殊綿糸の原料として必要缺ぐ可からざることは既に述べたり然るに近時世界に於ける棉花の供給は其の需要に伴はず歐洲戰亂前一九二一—一九一三年の如き平時の狀態に於て世界棉花の消費額は一九六四二、〇〇〇俵なりしが同年に於

ける生産額は一九、一九七、九七七俵にして即ち四四四、〇二三俵の供給不足を告げたりき加之棉花需要額の大部分を是等の諸國より輸入するの不便と不利とは今次の戰亂に於て具さに經驗せられたる所なり殊に埃及に於ては一時棉花の輸出禁止せられ爲に我紡績業に及ぼす打撃尠なからざりしも近時一年三萬俵を限りて其輸出を特許せらるゝに至り漸く愁眉を開けるの狀態なり事情斯くの如くなるを以て我國は今後朝鮮及臺灣に於ける棉花の栽培を奨勵して産額の増加を計ると共に他面大に支那の沃土を開拓して棉花の大部分を今後同國に需むるの策を講せざるべからず

第 一

朝鮮及び臺灣に於ける棉花の栽培を奨勵して其の産額の増加を計ること、朝鮮に於ける米國陸地棉栽培の有望なることは既述の如し朝鮮總督府に於ても近來之が奨勵に銳意し勸業模範場木浦市場をして輸入陸地棉種子の馴化に力めしめ以て純良なる種子の普及を計り陸地棉栽培奨勵地の棉作者間に棉作組合を設立せしめて生産棉の販賣を有利ならしめ且つ陸地棉の栽培に就ては地方廳の職員をして懇切叮嚀に指導せしめ或は品評會を開きて篤農者を表彰し販賣に不便なる地方に對しては市場迄の運賃を補助し或は肥料を供給して施肥の効果を覺知せしむる等施設する所尠なからず而して其品質に於ては今や米棉に多く譲らざるに至りたれども産額未だ多からざるを以て産額の増加に向つて一層有效なる奨勵施設を講じ將來米棉の輸入に代ふるに朝鮮棉花の移入を以てするに至るを阻めざるべからず朝鮮棉花生産の最極度は三十二萬餘俵にして近き將來に於て二十二萬四千俵の生産を實現し得べきことは既に述べたり而して中村技師の

所説の如く一段歩當り收穫を倍加することは實現困難なるべきも今後栽培面積の擴張と單位收量の増加に努むるに於ては米棉四十萬俵に代ふるに朝鮮棉花を以てすること必ずしも不可能にはあらざるべし臺灣に於ける棉花の栽培は今日尙微々として振はざれども其米國海島棉の栽培に適するは從來經驗せられたる所なり既に海島棉の栽培に適すとせば其一種たる埃及棉を栽培することの可能なるは想察するに難からず依て臺灣に於ても今後各種の施設を講じて埃及棉の栽培を奨勵し將來埃及棉三萬俵の輸入に代ふるに臺灣産棉花を以てするに至るは原棉供給確保上緊要の策と爲さざるべからず

第 二

支那に棉花栽培試験所を設け同國に於ける棉花栽培の研究指導に當らしめ竝に技術者を養成すること、朝鮮及び臺灣に於ける棉花の栽培を奨勵して米棉及び埃及棉の輸入に代ふるとするも尙は年々の輸入百萬俵を超ゆる印度棉の供給は之を如何にして確保するを得るか惟ふに印度棉の代用となるべきものは支那棉花を措いて他に之を求むること難かるべし抑支那は今日世界の棉産國中第三位を占め米國の年産額千四百萬俵英領印度の四百萬俵に對し支那は何等政府の奨勵施設の見るべきもの無きに拘らず年々能く二百萬俵を産出す而して其亂雜なる栽培法を改め種子の撰擇、耕作、施肥に關して少しく注意を加ふるに於ては現在の栽培面積を以てして容易に三倍の收穫を擧げ得べきことは専門家の一般に認むる所なり更に品種の改良其他栽培上に一層の改善を行ひ栽培面積の擴大に力めんか支那をして世界第二の棉産國たらしむること決して難事にあらざるなり

支那産棉花は品質劣等にして細絲紡績に適せず從來太絲紡績

に用ひらるゝに過ぎず然れども支那産棉花は之を印度棉の代用たらしめんとする目的より云へば品質の改良は必ずしも重要ならずして寧ろ大に産額を増加すること肝要なりされど産額を大に増加せんとするには栽培法を改良して収量を増加せしむる以外更に品質を改良して棉花の栽培を一層有利ならしめざるべからず近時上海在留外人の試作研究の結果は支那在來棉種につきて品質の改良収量の増加を計るの決して困難ならざるを證明せり更に一層の研究を積まば米棉種の馴化亦必ずしも不可能ならざるべし唯だ支那は政府の施設未だ全からず加ふるに農民は進取の氣象に乏しくして殆んど棉作の改良を企つるなしこれ我國が上海又は其他適當の地を選んで棉花栽培試験所を設け品種の改良栽培法の改善竝に産額の増加に關して研究をなさしめ且つ實地指導に當らしむる目的を以て技術者を養成せしむるを急務なりとする所以なり

第三

支那の棉花栽培の改良に對して資本と技術とを供給すること支那政府も近時漸く棉作改良の必要を覺知し一昨年春以來米國より技師ジョブソン氏を招きて顧問となし研究指導の任に當らしめつゝありと雖ども經費其他の關係より施設充分ならず従つて成績の未だ見るべきものなし由來支那の農民は保守的にして何等種子の撰擇を行はず一年三毛作を敢てして播種の時機を誤り輪作によりて地力の休養を計ることをなさず麥稈灰を施す以外合理的の肥料を加へず雜草繁茂するも除去するの暇なしとて顧みず偶々之が改良を説示するも彼等は土地を虐待するを以て經濟なりと確信するが故に毫も之れに聽従する所なしされば棉作改良の實を擧げんとするには支那政府は先づ現在四箇所の試

驗場以外更に上海、蘇州、天津、通州、山東、寧波、山西、陝西の各地に國立試驗場を設けて試作の良好なる成績を眼前に目睹せしめ獎勵の施設と相俟つて實地に就き指導説示することに力めざるべからず之れが爲めに必要な資金を支那政府に貸與し且つ試驗場の技師たるべき技術者を送りて實地指導の任に當らしむるは又原棉確保上の必要手段なりとす

支那に於ける紡績業の發達は近時頗る顯著なるものあり上述の方法に依りて綿産額の増加を來し棉花の廉價なる供給充分確保せらるゝに至らば蓋し我輸出綿絲及綿布の一大強敵となり我紡績業者は勢ひ支那内地に棉花工場を興し支那向綿絲布の生産は支那に於て之を行ふの必要を見るに至るなきやを保せず我紡績業者は深く此點に注意し遺憾なき準備を整ふること肝要なりと云ふべし

第四

支那に於ける棉花輸出税の撤廢を期すること、支那輸入關稅現實五分改訂の問題は主義としては既に確定議となり目下支那政府と各國委員間に於て課税の基礎たるべき商品價格の協定に關して交渉中に在り蓋し支那關稅改訂に關しては從來贅否種々の議論ある所なれども獨り支那を永く不利の地位に立たしめて之を顧みざるは日支經濟提携の上より曰ふも將又對支那貿易發展の根本より曰ふも結局我國の利益にあらず其の改訂を認むべきは洵に大勢止むを得ざる所なり故に右價格の協定に關しては當局者に對して甚深の注意を促し其措置を誤まらざるに努めしむると同時に他方支那に對しては其棉花輸出税の撤廢をなさしむるは原棉供給確保の上に極めて緊要なる策なりとす然るに支那棉花の外國輸出税は一擔に付〇、三五兩なるも支那各港間は輸

出税〇、二五兩以外沿岸貿易税〇、一七五兩を賦課せられ而して近來上海地方の紡績工業は漢口、天津方面の産綿を需要すること多く各社使用原綿の五分の二に上る實狀なれば人或は輸出税にして撤廢せられんか同時に沿岸貿易税も亦免除せられ結局上海紡績業を利するに過ぎずと爲し輸出税の撤廢に反對するものあり然れども支那内地生産品を支那内地に輸出する場合の輸出税及び沿岸貿易税は之を免除又は撤廢すること支那の自由なるのみならず縱令右兩税を免除せずとも他の手段によりて支那紡績工業を保護すること又容易なるを以て輸出税の存置は必ずしも支那紡績業の負擔のみを重からしむるものにあらず寧ろ此際原料輸出税の撤廢を期し日支經濟提携の障害を排除するを得策なりと信す

第五

原綿の輸送に要する運賃の輕減を計ること、現今印度より輸入する棉花の運賃は紡績業者と船舶業との間に比較的低率の特約の存するあり然れども今後我國に於ける原綿の供給を主として朝鮮、臺灣及び支那に求むることせば是等の各地よりする棉花輸送運賃の輕減を計るは原綿供給確保の上に適當なる處置となさざる可からず

青島に於ける大正七年中

綿絲布概況

△綿絲輸入情況 大正七年中當地に於ける綿絲の輸入は日本品印度品及び上海絲の三種類に限られ曩に英品の輸入を見たることありと雖ども戰後全く杜絶の有様となり獨り日本絲の勢力偉大にして戰前戰後を通じて常に總輸入額の七八割を占むるの盛

況を持せしが一昨大正六年頃より漸減の步調を示し本年に入りてより激減總輸入額の三七%に底下するの奇現象を呈せるにも拘らず之に反し上海絲の活躍實に目醒しく青島綿絲界の覇權を握りたる日本綿絲を一蹴し去り全く彼我顛倒の現象を示すに至れり如斯現絲は獨り青島のみならず輸出日本綿絲布の重要仕向地にして支那一體の商業中心市場たる上海の如きも一般斯業者の注意を喚起するに至れり蓋し其の原因多々あるべしと雖ども大戰勃發以來世界紡績界の活躍と共に日本綿絲も南洋、南河、南米、印度等に夫々新販路を獲得し盛に輸出を開始せると共に其需要益々旺盛となり織布原絲として多大の需要を呼ぶに至れる爲め常に供給不足を訴ふるの狀態に在りたる日本紡績太番手の繰業短縮を繼續せるあり之等強氣材料の續出は日本綿絲相場をして絶わす漸騰の步調を辿らしめ支那絲に比して著しき値開きを生ぜしめたるを以て地方の買進をして益々不況の狀態に陥らしむるに至りたるが九月以降に至りて歐戰休止に亞ぐに講和來を以てし内地市場は混沌殆んど一時歸決する處を知らず相場は若りに暴落暴騰を演じ目先不安定の狀態を呈せり又支那輿地に至ては例の内亂彌久に倦み土匪の出沒に苦しめられたる結果商途阻止され民力疲弊して一般買氣甚だしく減殺されたるあり且つ一方久しく不況時代に在りたる支那紡績は此好機會に乘じ大に其手足を伸し極力商圈の擴張に勤め是迄無配當の悲運に在りたる會社も急に二割より四割の配當を爲すといふ未曾有の盛況を呈するに至りたる等の事情は益々日本綿絲の輸入をして減退するの餘儀無きに至らしめたるものゝ如し次に印度綿絲も亦戰亂に伴れ漸次マンチェスター製品の激減と共に自國産の大部分は自國製織用として消費せられ尙不足を訴へ之が補給を日本輸

入品に仰がざるべからざる情勢に在りて力を支那輸出に注ぐの餘裕無かりし爲め昨年に比し夥しき減退を生ぜり要するに本年の輸入綿絲は如上の如き幾多の原因により昨年に比すれば約八萬擔内外の減退を示すに至れり今大正元年以降の毎年輸入額を對比せんに(單位擔)

日本品	印度品	上海製品	英品	計
大正元年	一七三三三	四九九五	一九七一	二五八〇〇
同 二年	二〇九九三	六九五九	二七三七	三〇五八二
同 三年	一八七一四	二六〇八	一四七〇	二八五三〇
同 四年	七八九四	七二四九	二二四三	八八四三
同 五年	三〇三七九	二八四四	三六九三	二六、一二三
同 六年	一七二〇四	四〇四六	九八四三	三三、三〇三
同 七年	七四八〇	一〇、四〇四	二六七九	二〇、八四三

備考 大正七年は十一月迄の累計とす

△綿布輸入情況 綿布に在りては二三の例外を除くの外一體に減退を示せるが就中本年に於ける米品の衰頹最も著しく僅かに粗布及び綿フランネルの輸入を見たるのみにして其數語るに足らず今日尙依然として市場に勢力を有せる英品と雖ども戰後漸減の歩調を辿り大勢衰微を呈し殊に歐戰開始以來毎年船腹不足運賃及び保險高竝に本國に於ける製造制限等幾多の事由に據り商況振はず日本品は獨り開戰以來好況を持續し歐米品輸出頓挫の機に乗じ全力を販路の開拓に傾注し著々効果を收めつゝあり然れど本年の内地相場は諸般の惡材料續出の爲め終始昂騰を續けたる上休戰、講和來の爲に駭かされ市場氣配測定し難きものあり加ふるに支那製品の生産増加を控へ奥地筋一體は久しきに亘る内亂と土匪の爲め購買力著しく減退し日本品の輸入は豫期せられたるが如き充分なる活躍を見る能はざりしと雖ども綿絲とは反對に昨年に比較し著しく増加を見るに至れり然れど能く

日本品發展の跡を窺へば其製品の各種を通じて其品質未だ英國製品に及ばざるの憾みあり故に歐戰後英品に拮抗し支那市場に商權を争はんとするには更に周到なる注意を重ね品質の改良に努力するの要なるべし今最近三箇年間の毎年輸入數量を示せば(單位反)

品名	大正五年	大正六年	大正七年十一月迄ノ累計	計
無地生金巾	一七六三	一四、六九五	七、四四〇	二五、〇〇〇
生粗布	一五八〇	七、四四〇	二、二四〇	一〇、八四三
無地晒金巾	三三九、一〇〇	二九、二八四	三三、八六六	七、五四七〇
綾木綿	七、七三三	八五、八二	五、八八〇	二〇、一四四
細綾布	二、四七	三〇	二、四七	三、〇
天竺布	二、〇六	二、四〇七	二、七〇	五、八六六
白寒冷紗及モスリン	二、七六八	二、三九〇	一、四三三	四、八三三
更紗	一、七〇六	九七、八二	一、二〇三	三、四、九三
緋金巾	八、八六六	八、八六六	八、八六六	二五、八九七〇
綿フランドル	一、八六六	三、〇六九	三、九〇三	八、七五三
綿イタリヤ黒	一、八六六	一、七五〇	一、三二七	三、八七三
同 色 付	二、九九五	一、七五〇	一、三二七	六、八七三
同 形 付	六、二九	一、七五〇	一、三二七	九、三六六
無地染金布	一、八六六	一、七五〇	一、三二七	四、九四三
チング	三、六二	一、八六六	一、三二七	六、八〇二

△青島の紡績工場 内外綿花會社の經營に係る四方紡績工場は未だ試作中に屬するを以て其規模甚だ大ならず漸く今春來一萬

二千錘の運轉を開始せるに過ぎざるも成績甚だ良好にして之が製品たる十六手銀月は上海同會社の製品たる水月、紅月と共に需要界の好評を博し毎月の產出高八百餘俵は直に消化せらるゝの盛況に在り同工場は青島に於ける唯一の紡績工場にして主として支那綿を使用しつゝあり絲質日本絲に比するに遙かに純白なるを以て支那人の嗜好に適せるものゝ如し然れど支那綿は纖維短少なるにより細絲紡績に不適當なるの嫌あるも本年の如き印棉不作の場合には内地に於ても盛んに印棉代として太絲に使用せられ比較的良好的成績を挙げつゝありと聞けり本年青島及び上海に於ける支那絲の賣行良好にして日本絲をして顔色なからしめたるは重に此太絲の勢力に壓倒せられたるに外ならず前記の如く支那綿を使用し支那内地に向つて其製品を賣捌かるゝ太絲の如き支那に工場を有せる同會社の如きは最も有利なる地位に立てるものと云ふべく即ち高價なる輸出入税及び運賃を省き得ることゝ工費の低廉なること及び常に一定の在荷を有することゝは輸入絲を壓倒し自家の地歩を確定する有利なる理由なるを證明するに至れり此現象は獨り青島と謂はず日本綿絲界に採り最も重大なる問題なるを以て斯業界の注意を惹起し慎重に研究せられたるが太絲に在りては稅率の改正を見るに於ては日本内地に於て經營せらるゝよりも支那に於て紡績せらるゝ方遙かに有利なりとの説は斯界の承認する處なり故に四方紡績工場の如き前途益有望なるは言を俟たず支那綿使用方法に就ても多年の實驗により既に成案あるものゝ如し

△濟南と沿線 當港に輸入せらるゝ綿絲布の殆んど全部は當地支那商人の手により濟南及び山鐵沿線各地方に輸送せらるゝものにして間々民船により沿岸に輸送せらるゝもの無きに非ざる

も其數謂ふに足らず而して濟南は青島輸入綿絲布の重要な消費市場にして其割合綿絲に在りては全輸入數の六割綿布は八割以上に上り青島の濟南か濟南の青島かと呼ぶるゝ程密接なる關係を有し濟南の市況は直に青島市場に反響する譯なり然れど茲に最も注意すべきは本年十一月頃の拂底相場當時の如きは一部西北地方の需要者は濟南を避けて直接上海市場に出で買付津浦線により搬入せられたることあり要するに綿絲布に在りては濟南市場の盛衰は青島市場の盛衰たりと雖も其商圈は濟南を中心として圓形を畫きたる一小部分に限られ奥地筋は依然津浦、京漢の二線により上海、漢口の供給を俟ちつゝあり然れば濟南延長線は斯界に採りては最も緊急必須の施設たることを疑を容れず該線竣工の曉青島の輸入綿絲布は倍加の盛況を呈するに至るべしとは一般の豫想する所たり而して海南を除きたる沿線各地に於ける需要割合を見るに綿布に在りては周村一〇%濰縣、博山、青州、城陽、膠州と併せて五%の割合なるが綿絲は濰縣十二%周村七%博山、青州、丈嶺、高密の各五%其他一%の割合なるが今年中に於て濟南及び沿線へ發送せる綿絲布の數量を昨年分と比較對照するに

○綿糸		綿絲布三驛(青島、大港、埠頭)發送數		(單位噸○ハ増△ハ減)	
				比	較
一	月	大正六年	大正七年	○	二七〇
二	月	一、九七〇	一、九七〇	△	一、三九七
三	月	一、九七〇	一、三六九	△	八三二
四	月	一、九七〇	一、三六九	△	四七三
五	月	一、九七〇	一、三六九	○	一九〇
六	月	一、九七〇	一、三六九	○	八四九
七	月	一、九七〇	一、三六九	○	四八一

八 月	九 月	十 月	十 一 月	十 二 月	計
四二五	一〇五五	一八〇三	一六〇三	一〇四二	一三九八
七六五	一三七一	一四二六	一三二六	一六四六	一三〇四
〇	〇	△	△	△	△
三〇七	一八三〇	三九六	三〇四五	六〇四	五九四

一 月	二 月	三 月	四 月	五 月	六 月	七 月	八 月	九 月	十 月	十 一 月	十 二 月	計
二五三	六九三	七〇三	六八九	三八六	二八五	一九九	一九五七	六〇七九	五〇二六	六〇八六	三六三	五二五六
三九〇	一八二	五七五	二二〇	四三六	三九三	三七九	三四八	四〇八三	四七七	六六二	六五八	五〇六六
〇	△	△	〇	〇	〇	〇	〇	△	△	〇	〇	△
二三八	五三二	二六二	四〇九	二〇三	二〇七	一〇〇	一〇二	一九六	二二九	五七五	三九五	一〇四

△上海と青島 上海は揚子江の船運を控へ南中北支那一帯の商業中心市場を爲し殊に綿絲布の如きは更に上海を中心として支那に輸移出せらるゝの實情に在り故に現物を主とする當地の市場は無論大阪の商況により左右せらるべしと雖も上海相場の場合に大阪相場より安き事は既定の事實なる上内地、青島の航路より上海、青島航路の便數多きを以て勢ひ上海市場は當地に採りては重要視せざる可からざる關係に立てり然るに昨年神戸、青島間の運賃を神戸、上海、青島間と同率位迄に引上られたる爲日本絲は採算上非常の不利に陥りたることあり十一月に入りて

より再び往航運賃の値下を見るに至りたるも如斯は頗る注意すべき問題にして假に上海相場が内地に比し幾分上鞘を示す場合と雖も其値開きが内地青島間の運賃より青島上海間の運賃を差引たる差額と大差無き限り船便多き上海に向つて注文を發する方有利なるは明なるを以て本年の如き内地高の場合には上海絲の輸入を呼び日本絲七萬四千餘擔(本年十一月迄累計)に對し上海絲十一萬六千餘擔といふ顯著なる數字を現はしたり此現象は本年の綿絲界に採りては最も注目すべき變態として斯界の注意を惹起せるものゝ如し如斯青島と上海とは唇齒の關係に立てるを以て上海の市況如何は場合によりては大阪市場より重要視せざるべからざるの地位に在りと雖も山東向の綿絲は大抵改造され居り商標共通のもの尠なく獨立の騰落を來すことも珍らしからすと云ふ

△天津と青島 天津は北支那の要衝に當り背後に蒙古側面に滿洲を控へ交通系統より見るも此地方一帯の中心市場を爲せるを以て年々上海より尠なからざる綿絲布の輸入を呼び居れるが毎年十二月より三月頃迄を結氷期間とし此間船運の便絶ゆと雖も交通上の關係より蒙古方面への供給狀態は毎年好況を持續し幾分宛増加の趨勢に在り然れど濟南の西北に當る高陽(直隸省)地方は織布原絲の需要地として知られ毎年多額の綿絲を消化しつゝあるが此地方よりは天津に出づるも濟南へ來るも仕入費用殆んど同一なるを以て當地輸入綿絲の濟南相場が天津相場に對し値開きある場合に於ては一部天津との競争を惹起することあり△芝罘と青島 青島と芝罘とは山東省に於ける腹背の關係に立ち因襲的及び交通的關係上山東の背面一部の需給關係を有し毎年上海より相當の輸入を呼び居れるが船運比較的不便なる爲め

青島相場不振の場合に於て稀に當地市場へ仕入注文ある位の程度なり

△青島の市況 當港に輸入せらるゝ綿絲布の大部分は濟南市場に於て消化せらるゝこと前述の如くなるが今春北支那地方一帯大洪水の爲め濟南商業圈内の一部が其被害區域に屬したると奧地一帯土匪出沒し勢力猖獗にして容易に平定せず商況一時不振を極むるに至り値段高に加ふるに銀不足の爲金融非常に逼迫し一般當用買の外買進まず爲に五六年來嘗て見ざる程の不況を呈せり之れが爲め夏期閑散時期に入りても相當小口取引行はれしが引續き綿高と戰爭の爲め印度及び其他の地方より日本綿絲に對する引合ありたる爲め大阪市場は急に活氣を呈せしも當地の商況は支那各地方と同様著しく振はず斯て秋期需要期を迎へたるが折柄ブルガリヤの降伏以來這界の影響一變したる上奥地の豐作は牽て輸入綿絲布に好況を及ぼし來り十月に入りて漸く在荷の一掃を見るに至りてより商狀好出合を持續せるを以て兎角不足勝なる入荷は漸次苦もなく消化され手堅く保合つゝ市中殆んど纏まめたる在荷を見ず本年を終れり而して其賣行を見るに十六手日本絲に在りては扇面の勢力牢固として抜く可からざるものあり其他金三馬、藍魚等相當の賣行あり桃印、軍艦、花蝶、松山等上半期中少許の入荷ありたるも直に品切となり年末に至り立馬(大俵小俵共)双鹿(同上)三馬等少數の入荷ありたる外上

海より時々三馬、舟美人等の輸入を見たることあり二十手に在りては福島最も賣行よく五子、日鳥、寶來、菊等相當の賣行を示せり其他四十二手の二合、金菊花三十二手の三合、金菊花等を其重なるものなりとす而して今年中當地の綿絲界に探て最も注目すべきは上海絲の勢力日本絲を凌駕したる一事にして本年中の輸入上海絲に就き見るに十一月中迄の累計に於て既に昨年の輸入額に超過すること二萬六千餘擔に及び(前表參照)日本絲を超過すること三萬二千餘擔を示すに至れり其賣行最も良好なりしは十六手紅月、双虎、丹鳳、二十手水月等全盛を極め十六手紅團龍、文明結婚等相當賣行あり其他印度絲に在りては双官夫婦等を其重なるものなりとす而して當地四方工場の製品たる十六手銀月の如きも頗る好評にして昨今出來高八百俵に上り直に消化さるゝこと前述の如し

綿布は粗布中殆んど絶えず賣行ありたるは九龍にして其他は謂ふに足らず、三チャール物秋晩の頃入荷ありたるも市況振はず獨り天竺は引續き賣行良好にして菊、太鼓、牡丹等を主なるものとし其他各種共相當の賣行を見たるが細布軍人、四A等の荷捌け良好ならずジンスも今年は頗る不振の内に經過し餘り目立ちたる取引無かりしも之に替り加工品たる染色細綾、晒金巾等の賣行大に注目すべきものありたり

△大正七年中綿糸相場高低表

種別	品別	福島		水		月		唐		子		扇		面		紅		月		銀		月	
		高	低	高	低	高	低	高	低	高	低	高	低	高	低	高	低	高	低	高	低	高	低
一	上旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	中旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
二	上旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	中旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	上旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	中旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	上旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	中旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	上旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	中旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	上旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	中旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	上旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	中旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	上旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	中旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	上旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	中旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	上旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	中旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	上旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	中旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	上旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	中旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	上旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	中旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	上旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	中旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	上旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	中旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	上旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	中旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	上旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	中旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	上旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	中旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	上旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	中旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	上旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	中旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	上旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	中旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	上旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	中旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	上旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇
	中旬	一五七〇	一五五〇	一五三〇	一五一〇	一五二〇	一五〇〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇	一五四〇	一五二〇	一五三〇	一五一〇						

昨年度銀市場概況

千九百十八年中に於て銀を中心として之が影響を蒙りたる事實を記録するは本篇の目的なり銀塊相場の變動の記録を作りたる機會の原因及び統計に就き其需給狀態を考察し以て將來變動の原因を究むるは極めて必要の事にして亦困難の一なり

銀の需要供給に就ては先づ眼を東洋に向けざるべからず東洋諸國に於ける銀に對する執著は吾人の豫想外にして一に感情に

依而支配さるゝなり在亞刺比亞米國領事の報告によれば亞刺比亞に於ける濠洲銀貨は物々交換の代替物として土人に蓄積せらるゝもの約二億弗に達すべし彼等は貨幣として銀貨を要するに非ずして媒介物たる寶として之を得んことを熱望し其貨幣面に刻せられたるマリヤ女王の寶冠及びブローチは彼等が他の寶石と同様に其蓄積を誇とし又印度に於ても此風習殊に甚し印度に輸入さるゝ大部分の銀貨も亦裝飾又は富の蓄積に外ならず貨幣

[illegible]

に對する此二重の作用たる此性癖は彼等の祖先より遺傳的の習慣性なり歐洲開戰以來各聯合國共銀に對して一方には軍用品の需要に供し他方に於ては戰爭に因り缺乏せる食料其他の原料を東洋諸國より輸入する爲に巨額の銀を必要とせり然るに銀の產出は近年著しく減少し爲に需給調節を失ひ益々銀塊の騰貴を除儀なくせしめたり以上の如き逼迫せる時機に際し英米當局者の間に協定を遂げ米國に於けるシャーマン條例による紙幣發行準備として積立てられたる三億五千萬弗の銀貨を鑄潰し以て東洋方面殊に印度に於ける銀の缺乏を救済し之が其前提として合衆國の金の維持保存に努め米國の逆輸入となるべき貿易銀の取極めを認容し鑄造用及び流通貨としての銀の海外流出を防ぎ以て聯合國の銀需要に應せんとするものなり而して同案は議會を通過し四月二十三日法律として發布されたり

千九百十七年六月三十日に於ける米國在銀高約五億六千八百萬弗にして此内七千一百萬弗は流通貨及び在銀行高にして殘額四億九千七百萬弗は國庫在高なり千九百十八年六月三十日在米國の銀高は稍減少し米國造幣局長の報告によると四億九千九百萬弗にして此六千九百萬弗を銀塊鑄潰しの爲め控除したるに由るものにして其筋の報告によると約九千一百萬弗を印度政府に銀塊として輸送され合計一億六千萬弗即ち一億二千三百萬オンスに均しき銀塊が千九百十八年中に於て英國政府の計算に於て米國政府より供給せられしなり外國貿易の決濟の目的を以て銀貨本位國に對し斯の如き巨額の銀を供給せる米國の功績も亦大なるものにしてヴェセロキー會財務官サーゼムスマストン氏も之を認めて稱讃せし程なりき氏曰く印度の貿易は元來逆輸入にして一千八百萬磅の輸出入總額に對し常々輸入國なりしに戰爭の

影響を受けて輸入杜絶し輸出増加國となり昨年度九月二日に於ける當時は其四倍の輸出額を示せり而して印度人の多數は近代の貨幣組織を解せず兌換券紙幣を好まず硬貨のみを愛著せり政府は一留比券紙幣を發行して流通せしめんとしたれど土人は之を疑ひ却而紙幣價值を下落せしむる傾向あり米國は此に觀る所ありて印度に銀輸送を企て其代償として戰時必要なる原料の供給を聯合國の爲に致さしめたり英米兩國政府の間に契約を結び印度に輸送したる銀の供給の外其附隨的行爲として鑛產物に關する常規の輸出に對しても亦特記せざる可らず即ち米國より東洋市場又は倫敦市場に委託したる鑛產物は概約一億二千五百萬オンスに上れり而して昨年度に於て米國政府及び個人精鍊所の生産高に係るものにして歐洲、印度、支那及び東洋諸國に輸出されたるものを合算するときは約二億四千八百萬オンスに達すべし

次に銀塊市場の變動を一瞥するに千九百十八年中の相場は左の如し

	倫 敦	紐 育
一月 二 日	四三片四分の三	八六片八分の七
二月 廿 三日	四三片二分の一	八五片八分の一
四月 廿 四 日	四九片四分の一	九九片四分の三
八月 十 九 日	四九片十六分の十三	一〇一片八分の一
十一月 十二 日	四八片四分の三	一〇一片八分の一
十二月 三十一 日	四八片十六分の七	一〇一片八分の一

以上の數に就て見るに昨年造幣局長の提出に係るビットマンビルが立法委員會に於て議せられ此案が議會通過中に於て非常なる速度を以て騰貴せしことを示すものにして八月紐育に於て

一片に付一〇八、八分の一に上りたれば紐育貿易銀は品位九九九なるを以て同年中の平均位に在りしなり

客年四月二十四日英國は東洋貿易の需給を調節せんが爲め倫敦に於て銀相場の格付を見たれども其後紐育に於ける米國政府の公定最高每オンス一〇一、二分の一と確定せし爲め倫敦に於ける相場は紐育の價格との權衡を持たんが爲め又々其標準を崩すに至り今後の變動捕捉に困難ならしめたり米國に於ける銀の移動に關し特に注目すべきことは銀の内國消費高に制限を加へられ以て他方戰時軍需品に使用されし事にして國內工業上に潰銀として消費さるゝ額は千九百十五六及び七年中輸入額の七割平均を使用しつゝありしも昨年度に於て其四割に減少せり是は政府の制限なくとも銀の需給の狀況に支配さるゝ當然成行なり又裝飾用其他美術工藝用として從來一億五六千萬オンスを消費し來りしも是亦甚だしき減少を來せり銀の生産高に關し千九百十八年合衆國內の銀鑛産並に銀塊取扱商の成績は千九百十七年中造幣局長の報告によれば七千一百七十四萬オンスに過ぎず而して加奈陀に於て二千三百萬オンスを産出せり

併しながら世界の銀産額は寧ろ増加せり墨國は其著しきものにして造幣局長の報告に據れば千九百十六年二千三百萬オンスの産出に對し翌十七年には三千一百萬オンスにして八百萬オンスの増加を示す今統計によるに千九百十八年十月一日迄昨年米國への輸入價格は六千一百萬オンスにして其七割は墨國輸入額にして即ち五千萬オンスに達すべく是等の銀は總て銀貨として輸出さるゝものにして（銀塊價格は銀貨としての法定價格より高し）之を實際の價格に換算するときは七千萬乃至一億オンスに達する計算なり而して墨國の産額増加一箇年四千萬オンス以

上に達すべく千九百十八年世界各國の在銀總額凡そ一億八千萬オンスに達すべきが今假りに之を消費其他の需要別に示す時は左の如し

米國內地消費額	一五、〇〇〇、〇〇〇
合衆國政府需要高	一五、〇〇〇、〇〇〇
英國及歐洲需要高	五〇、〇〇〇、〇〇〇
印本及東洋輸出高	七五、〇〇〇、〇〇〇
其他諸外國輸出高	二五、〇〇〇、〇〇〇
合 計	一八〇、〇〇〇、〇〇〇

銀市場の將來に關しては何人も之を豫言する事能はざるべきも特に東洋貿易問題を解決する上に於て過去數年來の經驗に鑑み一オンスに付一弗二九迄も騰貴したる銀相場も四五年前一オンス五十仙以下に迄下落したる此甚だしき變動を有する銀塊の將來の觀察をなすに就ては他に別に理由なかる可からず

（一）英米兩國は共に貿易上債權國たる地位を維持せんとし從て世界の供給する金の大部分を支配せんとしつゝあり且戰時中世界各國殊に敵國側の獨塊諸國が發行したる紙幣は非常なる額に達すべく戰後之が幣制整理に當り巨額の銀塊の需要起り各國共銀の爭奪を惹起すべきこと特に英國は貿易上の覇者を以て任じ就中東洋貿易印度留比に對して周到の注意を拂ひつゝあり（二）世界銀産出の事實を見るに其大部分は墨國にして墨國は其革命の影響を受け從來二億二千四百萬オンスを産出しつゝありしも千九百十三年革命以來平均一億六千七百萬オンスに減じ爾來五年間の總額約三億オンスに過ぎず此不足額は遂に補給するに由なく累年銀市場の暴騰を惹起し遂に米國をしてビットマニルの通過を見三億五千萬弗の鑄潰を見るに至りし事既に説

明したるが如し而して英國が東洋貿易に使用する目的を以て米國政府との間に協約を結び米國中央金庫より巨額の銀貨（其額に就ては未だ發表されず）を英國に輸送し以て東洋方面の需要に應ずべしとの意見を有するもの多し然るときは東洋方面の需要に應ずべき世界の供給額が現在一箇年一億八千萬ポンドに過ぎざる現狀より幾分の節約を爲し得べきも戰後各國の補助貨幣鑄造は勿論東洋、支那、印度、英米諸國の全需要を充すには尙不足を感ずべし

(二) 目下銀輸出公定相場一オンス一弗〇一にして之を外國銀市場の閑散期に際し一オンス一弗となる傾向を有し特に中央金庫はビットマンビルに於て造幣局に對し紙幣準備の銀貨を鑄潰し銀塊一オンスに付金一弗にて置代へ前と同額を得んと公言せる事既に述べたる所にして是又一時の彌縫策に過ぎざるなり之を要するに現在の法律の下に於て我米國の銀は已に數年前に於て我國より閑却されたと同じく只外國貿易によりてのみ之を恢復するの外なし公定相場として一オンスに付一弗のみを支ふるの要なからん而して銀市場は各國の政策及び需給により尙幾段の變動を免れざるべし

▲落花生輸入解禁方

在米石井大使來報 (二月二十七日商工局長)

本件に關し、本年一九一八年九月七日附通知第一四七號細來示の次第は、昨今輸出入制限緩和の機運漸く熟しつつあるに顧み、昨十七日戰時通商局當局者に對し、篇々交渉を遂げたる處、先方に於ては、昨今輸入當業者より頻に解禁を迫られ、目下詮議中なるも、他面農務省當局に於ては、國內に於ける落花生の耕作を奨励する見地よりして、種々供給其他の方法に依り、折角計畫し來れる關係も有り、遽に輸入解禁をなすことに不同意なる内情あり、早急決定の運に至り兼ねるも、其内何さか緩和を圖りたき意向なる趣を漏らし候、尙此上とも、精々解禁方盡力可致候得共、不取敢右一應及報告置候也

金 融

銀塊並に爲替相場 (一月中)

○銀塊 倫敦銀塊相場は前月七日四十七片十六分の一に下落して以來一月中を通じて更に變動なく同一相場を維持したり

○爲替相場 日本向電信爲替賣相場は十二月末日百六十七圓なりしが正月休み明け本月四日には百六十五圓七十五錢に下落したり然るに本月は支拂節季に際し支那各地金融逼迫し從て日本向爲替相場漸次昂騰一月十三日には最高百七十一圓に達したり其後支那年末切迫するに従ひ支那地方客は郷里に歸るが爲め漸次取引の閑散を來し爲替相場し幾分緩和せられ二十日には最低百六十四圓二十五錢に下落し其後殆んど保合ひの有様に百六十五圓を以て本月を終りたり

○金融 月初め米國より上海への銀塊輸入三百萬兩あり幾分金融の緩和を期待せられしも恰も支那年末に際したる事とて金融の逼迫は益々甚しく格別緩和の效を見ず上海各銀行は依然倫敦日本向等爲替を賣出し金策に腐心するの止むなき狀態なりき當地よりの上海向送金爲替輻輳したる爲め上海五日拂手形齊燕公所相場は最高九百五十一兩に達し月末取引稍減少するに従ひ九百四十四兩に落付きたり

銀塊並に爲替相場 (二月中)

○銀塊 倫敦銀塊相場は四十八片十六分の七なりしが運賃保險料低下の爲め四十七片八分の七となり再び下落し四十七片四分

の二を唱ふるに至りたり

○爲替相場 日本向電信爲替相場百六十五圓に始まり下落の一方にして百五十二圓を最低とし百五十三圓に終りたり蓋し休戦後各地共諸物價下落し未だ歐洲よりの輸出品注文少なき爲輸出爲替甚だ少なきに拘らず支那人投機商は何れの日か爲替の下落すべきを見込み常に買の態度に出するを以て市場は時々強氣を示したるも結局下落の止むなきに至りたり然れども斯る相場に於ては米國より銀塊を仰ぐの必要なのみならず支那人にして尙進んで買取りの態度に出ずれば反つて銀塊を輸出され得るの相場を出すを以て此先下落の餘地未だ甚だ少なきが如し

○金融 支那節季は支那各地金融狀態を一轉換せしむるものにして節季前は上海への送金多額なりしも一度決算を終れば上海より資金を取寄るもの多く齊燕公所上海向五日目拂手形は九百三十七八兩前後に持合ひ節季前と全く面目を異にせり

貿易

青島貿易近況 (十二月)

本月中埠頭輸出入貨物の數量を見るに其陸揚(輸入)に至りては三萬九千四十噸九船積(輸出)は十萬三千六千三噸七を算し輸出の輸入に超過すること六萬四千二十二噸七に上り前月に勝る盛況を示せるが之主として鹽及び棉花、葉煙草、穀類の輸出激増せる結果にして之を前月に對比するに輸入に於て一萬三千九百餘噸輸出に於て一萬七千八百餘噸の増加を示せり

陸揚貨物

十一月

十二月

比較〇八増△八減

船積貨物

計

八五三七八

一〇三〇六七

〇 一七八五九

更に之を昨年同期と比較するに輸入貨に在りては白米、麥粉高粱の輸入著しく減退せりと雖ども綿絲布、石炭、支那紙、セメント、白糖、煙草の増加せるあり輸出貨に於ては石炭、コークス、花生實の著しき減退を見たるも鹽、葉煙草、棉花、穀類の輸出激増せる爲め左表の如き増加を見たり

本年十二月		昨年十二月		比	
陸揚貨物	三九〇四九	三三〇五五	七五〇〇四	比	較
船積貨物	二〇〇六三七	六五五五九	三三〇四六		
計	二四一〇六六	九七、四四四	四四九、五八三		

主要輸出入貨物情勢 (十二月中)

輸入貨物中昨年同期と比較し著しき減退を示せるものを舉ぐれば白米、高粱、燐寸、石油、麥粉の數種にして増加せるは白砂糖紙卷煙草、綿絲布、支那紙、石炭、セメント、木材、燐寸材料等頗る多數に亘り居れるが就中白糖の増加は產地瓜哇方面の賣止策以來日本製精糖により之が補給の途を講ずるに至りたる結果にして綿絲、綿布に至りては相場の變動甚だ敷久敷買手控の態度をとり居たる支那商が年末に際し奥地の品薄と青島相場の好調に向ひたる爲一齊買進みたる爲なるべし石炭は地賣炭不足補給の目的にて三井が開平炭の輸入を爲せるに止まり支那紙は洋紙相場暴騰の爲め安價なる支那紙の需要を呼びたる反影と見るを得べし而して麥粉、燐寸、高粱、白米の減退理由は前に十一月分の比較に於て述べたるが如し次に輸出貨物に就て見るに著しき減退を示せるは石炭、コークス、花生實の三にして増加せるは鹽、葉煙草、穀類、棉花、牛肉、豆粕、桐材等なりと殊に灣

鹽の内地輸送は納鹽の期日逼迫の折柄益旺盛を極め本月は總輸出額の四十六%を占むるの有様なるが其他葉煙草、穀類(小麥)棉花、牛肉等之を昨年と比較するに其懸隔の餘りに甚だしきを知るべし蓋し各種其本年は其情勢を異にせる結果にして即ち小麥の輸出解禁あり棉花の新需要あり葉煙草の大規模買付あり牛肉の内地新輸出ありて落花生實の米國禁輸依然解けざる爲市況不味を辿れると石炭が需要最盛期の爲め輸出力の幾分を減殺されたるありコークスの内地需要衰へ輸出の激減を來せるありと雖ども昨年の今月に比し尙三萬七千餘噸の超過を見るに至れり

△輸入品 ○ハ増△ハ減

品目	十一月	十二月	昨年十二月	昨年と本年度比較
白米	三〇八六	三〇六六	一四四六二	△一〇〇五
高粱	五二六	五〇四	一四〇四四	△一三五四〇
果實	三六五三	七四六三	五九六	〇二〇六六
茶	二九九	八九九	四三三	〇四七四
白砂糖	一六二三	一七〇〇	四〇二七	〇一三〇七三
赤砂糖	八二六	五九二九	九四二八	△三〇九九
冰糖	四四六	二五三	一一四三	〇一四二一
水砂	一、三五四	二〇二五	五八一四	〇一四〇二
煙草	二五	六、〇九九	六六四三	△五五四三
石油	三九四七	九二三四	一八二六六	△九三三
燐寸	一、九二四	五、九四七	二、六七三	〇二六九五
綿糸	一四二〇	一、九六六	九四〇五	〇一〇、二五六
綿布	三、四四五	三、四一九	一、六九	〇一八五〇
支那紙	一、〇二五〇	二、八五八八	一、四七五六	〇一、八三三
石炭	二、六七五〇	二、二七四〇	二、〇二五	〇二〇七五
セメント	五八三九	一八四五四	三八〇五	〇一、四六四九
鐵古(チ含ム)	三二九	四一五四	三二九	〇一八三三

△輸出品

品目	十一月	十二月	昨年十二月	昨年と本年度比較
金屬製品	一、五〇〇	四三二	三〇一	〇三二〇
木材	二、九二二	一、九五九	二、九八	〇七九三
構材	五、四七	九四九五	一	〇九四九
麥粉	九八六	三、四五一	二、六三七	△二、三八六
木炭	二、四二四	一、九七一	二、七三三	△六三
麥粉	一七二	三、四三	一五三	〇三、四三
其他穀類及種子	六、四九八	七、二九八	一五三	〇七、八三五
蔬菜	六六七	六六	四六八	〇一六八
果實	八五八六	八二二	四六八	〇三、四四五
牛肉	一、〇四九五	一、〇九二	五五五七	〇五、六六四
鹽	三七、〇四五	四八、三〇〇	一五、八四〇	〇三、一九六〇
葉煙草	八五三八	八四、一七七	四〇、四四	〇四、〇三三
牛骨	二、六八〇	三七三八	四八三	△六四五
牛皮	二、〇九五	一五八	五五二	△三五九四
花生實	一、六三三	二、九七三	六四二六	△三、〇四四
花生油	二、九四四	五、〇七〇	四、九一八	〇四、八三
豆油	一、五〇一	八七〇七	一、四四一	△三七三三
絹屑	五九九	三、四六	一二三	△八六七
棉花	二、八四八	三、八七七	八七三	〇三、八五五
溜川炭	七、六五〇	七、七四〇	一、七八六	△六、三二一
博山炭	三、二二〇	三、七六五〇	一、七八六	△六、三二一
撫順炭	五、〇〇	四、五七五〇	七、五二四	〇三、〇一七
コークス	五、四七三	四、五七五〇	三、九五	〇二、九八一
鐵(古共)	一、四三四	三、八六	三、二二	〇四、七三〇
桐材	五、三三	七、九四三	五、三三	〇三、九三
麥稈	三、九五	三、八〇五	五、三三	〇三、九三
豆粕	八七七	九、六六七	一、九八	〇八、六六九

一月中の青島貿易

本月中埠頭輸出入貨物の數量を見るに其陸揚(輸入)に在りては二萬二千四百七十九噸六を示し船積(輸出)になりては六萬八千四百三十一噸六を算し輸出の輸入に超過すること四萬五千九百五十二噸にして三倍強に當れり由來當港の輸出貨は輸入貨に比し常に優勢を持し來りたるも今日の如き大なる差額を現はし來りたるは最近の事に屬し畢竟省内及び奥地物産が漸く海外輸出の途を見出し得たるを證するものにして其主なるものとして先づ鹽、葉煙草、棉花、牛肉、小麥等を擧げざるべからず

昨年十二月

一月中

比較〇ハ増△ハ減

陸揚貨物

元〇四九

三、四九六

△ 一六五三

船積貨物

一〇、〇六七

六、四三六

△ 三、四三二

計

一四、一〇四

九、〇九二

△ 五、一〇二

更に之を昨年同期と比較するに輸入貨に在りては一萬五千九十二噸一を減じ輸出貨に在りては一萬四千三百四十三噸七を増加せり其主因は石油、燐寸、麥粉、白米の輸入減退せると鹽、小麥、葉煙草、棉花の輸出激増せる結果に外ならず

本年一月中

昨年一月中

比較〇ハ増△ハ減

陸揚貨物

三、四九六

三、七五七

△ 一五〇九二

船積貨物

六、四三六

五、四〇七

〇 一、四三二

計

九、〇九二

九、一六六

△ 七四八

主要貨物情勢 (一月中)

輸入貨物中昨年同期と比較し著しき減退を示せるは白米、高粱、麥粉、燐寸石油の數種にして増加せるは木材及び金屬製品の二種に過ぎず白米、高粱、麥粉、燐寸の減退に就ては既に屢

々本欄に於て詳説せるを以て之を省略し先づ石油に就て云はん
にス、ラ兩社共必要に應じ一時に巨額の輸送を爲しつゝあるを以て本月の如き入荷悉無の月を生ずるも之を昨年同月分と比較研究するは甚だ無意味の事に屬す金屬製品の増加は相場の下落と共に需要を喚起したるものにして前月分と比較するも尙四倍の増加を示せり而して木材に在りては船運の暴落と船繰の都合を考へたる當地材木商が春先の需要増加を豫想し貯材の目的を以て仕入を爲せしによるなるべし而して

輸出貨に在りて増加せるは鹽、葉煙草、小麥、棉花、石炭の各種にして減退せるは落花生實、コークス、牛油、牛肉等なりとす落花生實の激減は米國輸入禁止の爲にしてコークスは内地製鐵界不味に伴れ其需要激減せる結果に外ならず獨り牛肉は益々旺ならざるべからざる時期に於て減退せるは牛疫の爲め大牛の出廻り薄く豫定の頭數を得られずして完全に麻尼刺及び浦鹽方面の輸出を満す能はざりし爲なり其他の諸品に在りては既に前號に詳述せり今其輸出入狀態を示せば左の如し

△輸入品 ○ハ増△ハ減

品目	十二月	一月中	昨年一月中	昨年本年との比較
白米	三、五三八	八七三	一、七九九	△ 一、六五七
高粱	五、〇四	—	四、七四五	△ 四、七四五
果實	七、四六二	五、四一五	五、八三	△ 五、四一五
麥粉	三、四九二	五、四八八	四、二七二	△ 三、六〇三
白砂糖	二、七〇〇	八、三四四	一、二八四	△ 四、七七〇
赤砂糖	五、九二九	五、六四	一、二六二	△ 六、〇〇七
冰糖	二、五五三	一、三〇〇	六、七三	〇 六、八
燐寸	九、三三四	七、七七	一、六五二	△ 八、七四
綿糸	五、三九四	二、五九〇	三、〇六七	△ 四、七七
綿布	一、九六二	六、四三	一、〇六三	△ 四、三〇

支那紙	二八五八八	二〇五五	一八七三六	一五八
石炭	二七四〇	六三三〇	一五七〇	八四〇
鐵	四一五四	六三六〇	五二二	〇四九
金屬製品	四三二一	一五九五五	四九六六	一、二五九
竹材	一一二〇	三四一四	一七〇五六	一、三四三
木材	一九九〇	三五四四	一七五九三	一、〇三
燐寸材料	九四九五	五〇一四	五〇一二	〇三
昆布海藻	一〇六六	一二六九	三九七二	二〇三
石油	六〇九九	一八六六八	二八四八九	二、八四九
煙草	二〇二五	一八六六八	一、三四八	五三〇
△輸出品				
落花生實	二、九七三	三五八三	八八三七	五、三五四
其他ノ穀類	七、九八八	六九四四	一二三	六九三三
蔬菜	六三六	三七〇	三〇三三	六八
果實	八二二	一二七七	四三七	八四〇
牛肉	一〇九二	一八七六	二、三〇四	三九八
鹽	四、三三〇	一八二九三	一、九八〇	六六九三
葉煙草	八四一七	五〇九八九	三、四六五	一、六三四
骨粉	二二三〇	五七三九	一九二六	三八三
獸骨	一五五八	一〇八	三二八〇	一九七三
牛皮	三七五八	二七六〇	三二七四	四一四
落花生油	五〇七〇	九三三七四	八五四七四	八五〇
牛油	四六三三	三六七	一〇七二〇	七五四三
棉花	三八七三	一、三三八	二〇八八	一、二七〇
淄川炭	七、七四〇	六、九五二	二、五八〇	三、七七一
博山炭	三、七六五	三、七六〇	三、五二二	一、八九
コークス	四、五七五	四、五〇四	五、五二九	一、〇四七五
車輻	—	六六九	二〇	六六九
豆粕	九六六七	四七九	五二六	四、五三

海運及鐵道

青島最近出入船舶 (十二月中)

當月中の入港船舶は(汽船)百二十八隻此登簿噸數九萬一千五百九十九噸出港百三十三隻九萬六千〇三十二噸にして積載貨物は入港卸荷三萬九千四十噸九出港積荷十萬三千六十三噸七を示せり而して之を一月以降の累計に徴するに入港千七隻八十萬八千三百三噸出港千九隻八十一萬一千六百三十二噸にして卸荷三十五萬五千二百八十二噸五積荷六十二萬一千六百六十一噸二合計九十七萬六千九百四十三噸七に及び之を昨年十二月分と比較すれば左の如し

	入港	出港	卸荷噸數	積荷噸數
本年十二月中	二八	九、九七九	一三、九六〇三	一〇三、〇三七
昨年十二月	金	九、六〇三	八、九一三三	三、五五五
比 較	〇四三	△六四四	〇四九	△七、〇〇〇
			〇七五、二〇四	〇三七、四七八

而して入港船舶の仕出地別を示せば日本内地四八大連二四上海一八其他の支那沿岸港一八釜山一仁川六にして出港仕向地別は日本内地五五大連二二上海一六其他の支那沿岸港一六釜山五仁川六なりとす

青島航路好況

海運界は内航外航其荷物出廻り悪しく運賃率も各線を通じ漸落の傾向を示せるが久敷船腹の不足に悩まされつゝありたる當地も昨年十二月頃より内地青島間復航は稍活氣を呈し原鹽、雜穀、棉花其他の内地向貨物増加したるにより少しく船線の餘裕を得たる各船主側は競ふて船腹を提供するに至り遽かに臨時船

の出入頻繁を極むるに至れり

内地復航運賃値下

休戦以來世界海運界の趨勢漸く軟調に傾き昨今殆んど底無しの暴落を示せる事既報の如くなるが當青島海運業者も亦茲に鑑みる所あり内地青島間に於ける定期航取扱郵船、商船、原田の三社は内地各本社と協議を遂げ二月一日より内地復航運賃の値下げを斷行する由なるが其引下率は當港主要輸出品に對し最高三割強最低一割強の減率なりと

大連船腹集中

一月十六日の大連港は開埠以來未曾有の船舶入港を見るに至れり即ち福岡丸、浦賀、竹島等の十九隻の不定期船と定期船嘉義丸を加へ合計二十隻の入港船あり埠頭現在の繫船數四十隻を算するに至れるが是等多數船舶の一時に輻輳せるは鎮南浦、兼二浦、秦皇島 各航路休航の結果にして自然大連積荷運賃は著しく暴落し豆粕の如き四十錢臺を實現するに至れり

内地備船運賃近況

昨今海運界は殆んど底無しの状態を以て日一日と悲境を辿り運賃等も全く目先暗黒にして成約極めて少く僅かに多少の石炭出廻りありたるのみ戰前即ち大正三年度に於ける石炭運賃率は噸當り五十錢より一圓五十錢乃至一圓八十錢の程度を示し居しが本年も必然斯かる暴落を來すならんとは一般船會社の豫測する處なり而して最近に於ける運賃率は左の如し

船名	積揚地	積荷	噸數	運賃	回航
四郎丸	唐津	濱石炭	一、八〇〇噸	四、八〇	一月三十日 三菱
二元山丸	住江	濱同	二、二〇〇噸	六、〇〇	二月三日 三井

大明丸	若浦鹽	同	一、三〇〇噸	七、五〇	一月廿六日 湯崎
銅山丸	大連濱	豆粕	四〇、〇〇〇担	四七	二月初 村井
三萬世丸	大連神戶	豆粕外	二五、〇〇〇担	船腹一萬圓	一月廿日
松島丸	住の江濱	石炭	一、八〇〇噸	六、二〇	一月末 三井
北斗丸	釧路濱	同	一、〇〇〇噸	六、二〇	二月初
宗像丸	大連神戶	豆	二四、〇〇〇担	四〇	二月上旬 日洋
大正丸	神戶函館	米	五〇〇噸	袋、五〇	月・末

三驛發著主要貨物情勢 (一月中)

當月中青島驛、大港驛、埠頭荷拔所の三驛に於ける主なる發著貨物を昨年同期と比較對照するに左表の如く發送貨物中増加せるは煙草油粕の二種に止まり他は皆著しき減退を示すに至りたるが就中高梁及び麥粉は奥地豐作の結果自給自足の途講せられ輸入を激退せるのみならず却而油粕の如き肥料を講入施肥の餘裕生じたるもの、如く發送増を呼び煙草の増加も購買の餘力を生せるものなること明なり砂糖の減退は爪哇糖の輸入殆んど絶わたると一體相場高なりし爲め買手控の結果なるべく雜貨は沿線日本人が昨年に比し其數を減じたる爲め從て需要の減退を來

せしに外ならず、到著品中著しき増加を見せたるは米、小麥、棉花、桐材、木材、石炭等にして減退せるはコークス、落花生、落花生油、生牛の數種なりとす而して米の到著増加は内地及び鮮米相場暴騰の爲め當地の需要は悉く江蘇米に傾き津浦線を経過して同米の輸入せらるゝもの激増せる結果にして小麥及び棉花は輸出の増加に伴れ濟南滯貨の發送を見たる譯なり又桐材は内地供給不足の結果山東桐材の輸出を呼び木材は重に當地燐寸工場に於て使用せらるゝ白楊樹の到著日を追ふて増加せるによる而して減退貨物中コークスは内地製鐵界不振の爲め同方面の需要激減せる結果にして落花生及び同油は米國市況面白からずして輸出向商況活潑ならざりし爲自然奥地の出貨を呼びざりし爲ならん生牛の減退殊に著しきは輸出の最好機を控へ奇しき現象の一なるが這は奥地牛疫猖獗を極め羅牛一時に増加し輸送不能となれる結果如斯著しき減退を見るに至れるものとす

△發送品

品名	本年一月	昨年一月	昨年と本年の比較
高粱	二〇二	二五九	△ 二五九
麥粉	一五七	一五九	△ 一五九
綿糸	五九三	六八〇	△ 六八〇
綿布	二六四	二九〇	△ 二九〇
砂糖	六二四	一八四	△ 一八四
石油	二〇九	二二四	△ 二二四
燐寸	二五三	二〇〇	△ 二〇〇
木材	二九二	二五五	△ 二五五
燐寸材料	一八九	一六三	△ 一六三
煙草	六四三	七七八	△ 七七八
雜貨	六三六	一〇九	△ 一〇九
油粕	三六八	七五	△ 七五

△到著品

品名	本年一月	昨年一月	昨年と本年の比較
石炭	六九七	四六六	△ 四六六
コークス	二五八	七三三	△ 七三三
落花生	四〇九	四〇七	△ 四〇七
落花生油	四三三	六八五	△ 六八五
豆油	一五九	五二九	△ 五二九
牛皮	一六五	一四六	△ 一四六
牛骨	六八四	五〇九	△ 五〇九
小麥	五七七	七九四	△ 七九四
桐材	八八〇	三六二	△ 三六二
木材	四六三	三三三	△ 三三三
棉花	二八三	〇二	△ 〇二
葉煙草	六〇三	五九	△ 五九
生牛	二九二	五、六四〇	△ 五、六四〇
米	七四四	三六六	△ 三六六
野榮	一、九七〇	二、二七九	△ 二、二七九
線香	五〇五	二〇五	△ 二〇五

一月中出入船舶

本月中入港船舶(汽船)は百一隻此登簿噸數七萬千七百七十一噸出港九十八隻六萬九千七百五噸にして積載貨物は入港卸荷二萬二千四百七十九噸六出港積荷六萬八千四百三十一噸六を示せり而して之を昨年一月分と比較すれば左の如し

年別 本年一月 昨年一月 比較
 入港 噸數 卸荷噸數 積荷噸數
 本年一月 二〇二 七、一七 九、六 七、一七 三、四九六 六、八三六
 昨年一月 一〇一 六、一〇 六、七 七、〇六三 三、七三七
 比較 〇元 〇四九八 〇三 〇八八 〇二五九三 〇四四三七
 而して入港船舶の仕出地別を示せば日本内地三十六隻大連二十三隻上海十八隻芝罘六隻支那沿岸九隻釜山一隻仁川六隻香港マニラ各一隻にして出港仕向地は日本内地三十四隻大連十八隻

上海二十三隻芝罘一隻支那沿岸十隻釜山三隻仁川四隻香港三隻浦鹽二隻なりとす

内地備船運賃近況

近海備船六七圓説は大型船十圓説と共に最近の氣配なるも最近の手合せは八重山香港十三圓ラ、サ配船十一圓等の特種航路を見たるのみにて一般手合せは依然見送られ六七圓は所謂唱へ値に止まりしも今回日本郵船に成約せる田中汽船の英丸(三、八〇〇)が六ヶ月噸七圓を以て愈近海七圓を裏書きせらるゝに至れり又目下一種の反動として近海以上に悲觀せらるゝ遠洋船は過般三井の備入れたる川崎新造德福丸(九、一〇〇)十二圓を最低としたるが今回太平洋海運の備入れたる壽福丸(九、一〇〇)は北米一航十圓にて成約し愈大型船十圓を實現したり目下の狀態に於て見るに英國備船料との差殆んどなきのみならず諸威船の十圓見當に比し平衡を得たるものにして今後海運界の復活期に入り尙特惠を有する日本船が如何なる程度迄引返すべきやは世界的海運界の反撥程度如何と共に興味ある問題なるべし

運賃は尙刻々に下落し釧路濱角材百五十圓九太二百五十圓を告げ石炭は三池濱三圓三十錢にて契約し若濱三圓八十錢若上海三圓を唱へ大連豆粕の如きも漸次繋船率に接近しつゝあるものゝ如し

三驛發著主要貨物情勢 (二月中)

本月中青島驛、大港驛、埠頭荷扱所の三驛に於ける主なる發著貨物を昨年同期と比較對照するに左表の如く發送貨物中著しき増加を示せるは綿絲、綿布、石油、木材、砂糖にして減退せるは高粱、麥粉なりとす又到著貨物中増加せるは石炭、小麥、棉花、生

牛、米等にして減退せるはコークス、花生實、花生油等なり然れば大體に於て其品目情勢等前月と同一の趨勢を示し居れど特記すべき現象を見せたるは石炭の激増なりとす石炭は一時淄川の出炭量激減せる爲十二月中の到著數三千三百餘噸に下りたるも間もなく漸次回復博山もコークス界の不況につれ原料炭の一部に餘裕を生ずることゝなり漸く毎月九千噸以上の到著炭を見るに至れり其主なる發著貨物を示せば

△發送品

二月中 昨年二月中

比 較

高粱	一、四七二	一、五七七	△
麥粉	一、四二六	一、四七六	△
綿糸	一、四二六	一、四七六	△
砂糖	一、四二六	一、四七六	△
石油	一、四二六	一、四七六	△
燐寸	一、四二六	一、四七六	△
木材	一、四二六	一、四七六	△
燐寸材料	一、四二六	一、四七六	△
紙卷煙草	一、四二六	一、四七六	△
古鐵	一、四二六	一、四七六	△
石炭	一、四二六	一、四七六	△
コークス	一、四二六	一、四七六	△
花生實	一、四二六	一、四七六	△
花生油	一、四二六	一、四七六	△
牛骨	一、四二六	一、四七六	△
小麥	一、四二六	一、四七六	△
棉花	一、四二六	一、四七六	△
葉煙草	一、四二六	一、四七六	△
米	一、四二六	一、四七六	△
生牛	一、四二六	一、四七六	△

青島港出入汽船細別表

(大正八年一月中) (空船ヲ除ク)

△入港之部

入港月日	國籍	船名	登簿噸數	揚荷噸數	揚荷主貨物名	仕出地
一月一日	日本	多摩丸	四〇四・〇	六六五・九	綿糸、支那紙、麥粉、金屬製品	上海
二日	同	金剛丸	七八三・〇	二四三・一	木材、煙草、燐寸、米其他	大阪
三日	英國	八代丸	二五八・〇	四三七・三	麥粉、藥品、綿糸、支那紙	上海
同日	同	奉天號	一、〇七三・〇	三八	綿糸、絹糸、食料品	同
同日	日本	益進丸	五五八・〇	三一〇・七	麥粉、綿糸布、支那紙、竹材其他	同
四日	同	龍平丸	四三一・〇	四五・六	白砂糖、機械其他	大連
同日	同	柳潮丸	一、三四五・〇	一・〇	家具	同
同日	同	天潮丸	七五一・〇	四二五・七	煙草、蠟燭、桐油其他	上海
五日	同	臺北丸	一、五二二・〇	六九三・三	綿糸布、燐寸、海產物、果實、電氣材料、雜貨其他	大連
同日	同	第十六共同丸	九一七・〇	一二九・五	木材、木炭、石鹼其他	大連
同日	同	江原丸	四二六・〇	七二・六	醬油、蔴蓆、家具、煙草其他	仁川
同日	同	コリマ號	九五・〇	四・一	海產物	芝罘
六日	露國	大露丸	八四〇・〇	三三三・七	日本酒、海產物、燐寸、綿布、木材、燐寸材料	神戶
七日	同	薩摩丸	一、一二五・〇	二四四・〇	綿糸布、燐寸、海產物、雜貨其他	大連
八日	同	新開丸	四六〇・〇	一七五・〇	石炭	大連
九日	同	龍平丸	四三一・〇	七〇・九	砂糖、木材、電氣用品、機械其他	大連
十日	同	立山丸	一、三三七・〇	一・〇	雜貨	大連
同日	同	川內丸	四六四・〇	二二五・九	麻袋、綿糸、木材、燐寸材料	神戶
同日	同	天潮丸	七五一・〇	一、〇八九・八	竹材、支那紙、煙草、綿布、麥粉其他	上海
十一日	同	奉天號	一、〇七三・〇	一八五・六	麥粉、桐油、支那紙、竹材、食料品	同
同日	同	第十六共同丸	一、三四五・〇	三四	家具、絹糸	大連
同日	同	六甲丸	九一七・〇	三八七・六	煙草、セメント、木材、木炭其他	同
十二日	同	西京丸	一、五一〇・〇	三七一・〇	燐寸、同材料、綿糸、木材、雜貨	大阪
同日	同	同	一、五一〇・〇	六七一・〇	綿糸布、果實、海產物、鮮魚、金屬品、食料品、雜貨	同

[illegible]

同	龍平丸	四三一・〇	三五・九 砂糖、鮮魚、綿布、石鹼
同	第廿五永田丸	二六四・〇	二〇九・〇 木材、金屬品、石鹼
英 國	奉天號	一、〇七三・〇	八七七 麥粉、支那紙、綿絲、其他
日 本	江原丸	四三六・〇	一五三・一 米、味噌、醬油、海產物、苳類、金屬品
同	營口丸	一、〇六五・〇	三二五・三 果實、燐寸材料、金屬品、食料品、其他
同	二十八日	五四三・〇	二六二・八 木材、木炭、染塗料、セメント、古鐵
同	御崎丸	五五八・〇	一、〇一八・九 紫、煙草、綿糸布、支那紙、木材、竹材
同	益進丸	九九一・〇	八四・九 砂糖
同	須磨丸	八八三・〇	二八二・四 燐寸、綿糸布、木材、陶磁器
同	壽丸	二、八三三・〇	一、四四二・〇 木材
同	三十日	五五七・〇	二七四・一 本炭、木材、硝子品、金屬品、豆類
同	武德丸		

△出港之部

出港月日	國籍	船名	登簿噸數	積荷噸數	積荷主名	貨物
一月一日	日本	東晃丸	七三一〇	一、二二四・五	葉煙草、花生實、同油、絹糸、	上海
同 二 日	支那	肇興號	七六七〇	二二九・一	花生實、同油、果實	香港
同 三 日	日本	第廿五永田丸	二六四〇	八八・五	絹糸、棉花、果實、	大連
同 四 日	同	大順丸	八六一〇	一、五一三・五	穀類、牛肉、骨粉	神戶
同 四 日	同	龍平丸	四三一〇	一九〇・一	花生油、牛肉	大連
同 同	同	八代丸	二五八〇	六六八・〇	鹽	橫濱
同 同	同	基隆丸	九六二〇	二〇〇	石炭	大連
同 同	同	櫛隆丸	一、三四五〇	一二七・〇	葉煙草、牛肉、海產物	上海
同 同	同	千年丸	五六七〇	一、一〇〇・〇	鹽	門司
同 同	英國	玄海丸	七八四〇	一、四〇〇・〇	鹽	熱田
同 五 日	日本	奉天號	一、〇七三〇	四七六・六	花生實、蔬菜、葉煙草、花生油	上海
同 五 日	同	天潮丸	七五一〇	七六〇・五	葉煙草	同
同 六 日	同	神戶丸	一、五三六〇	七・一	綿布、車輛	同
同 六 日	同	第十六共同丸	九一七〇	八八二・九	麥酒、花生實、牛肉	同
同 同	同	波津丸	三九〇・〇	八〇〇・〇	鹽	仁川
同 同	同	江原丸	四二六〇	三八二・九	核子、棉花、石油	同

大 同 門 大 上 三 若 海 同 大 同 上 神 マニラ 同 上 釜 横 上 秦 門 香 大 上 大 浦 横 大 海 大 函
阪 司 連 海 田 松 州 連 海 戸 海 山 濱 海 皇 島 司 港 連 海 阪 鹽 濱 竹 州 阪 館

[illegible]

主要貿易品概況

◎綿絲布（二月）

綿絲、大阪市場引續き米棉安を入れ相場は軟調を示せるが青島は爲替好順なりし爲め月始め頃入荷を呼び實需筋の買付ありて相當賣行を見せたるが其後内地品拂底を告げ暴騰相場を現はし青島相場との間に十圓餘の値開きを生ずるに至り當市場は大坂相場を無視して盛んに取引行はれしが尙相當の手持を有せると舊正前の閑散期に入りたる爲め纏まりたる入荷を見ず需要筋も年末にかけ相場悪しかりし爲め一般買控の態度を示せり然れど奥地一體品薄の事とて舊正明けの相場如何によりては一齊買進みに出づるは豫測し難からず相場は割合に手堅く保合へり綿布、粗布、天竺共僅かに賣行を見たるが舊正前の事とて纏

まりたる取引行はれず各店共相當の手持を控へ不振の中に月を終れり

綿絲

福島(二十手)

扇面(十六手)

綿布

粗布九龍

◎砂糖
(二月)

本月を通じて原産地は強氣一方なりしが支那市場買氣無く相

場は伸惱みの態にて思惑筋も舊正明けの實需に應ずる丈けの買付を爲せるのみ思惑買に出づるもの無く大手筋は舊正明けの銀の高低を懸念し氣迷の姿なれば商談活潑ならず本來當地相場は大連相場に支配され居るも本月は大連品薄の爲輸入更に無く日本商人は何れも手持薄の有様なるか太古洋行の潤澤なる手持を

控へ相互の調節採れたる爲め値段も割合に落付を見せ月末四溫糖六兩三匁見當を保合居れり

◎燐 寸 (一月)

年末の燐寸界は金融逼迫以外に先安見越にて一般買控の態度を採りザリ弱の足取りにて漸落相場を示したるも大連、牛莊、天津方面の買進ありたる爲め月中頃より月末迄相場は一定の場所を動かす青島物銀四十七圓五十錢日本物三十兩と喰止め先弱を見越しつゝ終始現物商買に追はれ氣味にて本月を終れり

◎米 (一月)

内地正米は依然順調を改めず期米は當限三十九圓八十四錢(二十五日)と新高値を出し鮮米も其に伴れ益高値を呼び月末青島著赤十四圓三十錢青十三圓九十錢と跳上りしも當地相場は江蘇米に押されて伸悩み赤十三圓六十錢青十三圓二十錢といふ大逆鞘を示すに至れり江蘇米も産地在米薄に従ひ漸次昂騰月末上物三斗入一呎金十圓を唱へ月始に比し七十五錢の上鞘を示せるが安物は依然七圓見當を保合へり

◎木 材 (一月)

建築界の閑散期とて木材の賣行活潑ならず各店共相當手持を有せるが小口需要相當にあり市況依然強氣を失はず頃者海運界の頓挫により運賃先安見込立ちたると銀高とにより賣値引下げの餘裕を生じたるを以て月始め各材木商協定の土各材に對し一割の値下げを發表するに至れり

◎紙 類 (一月)

休戰以來海外商談の激減に伴れ内地各市場共供給過剩を來したる爲め市況頓に惡化し斯界の恐慌を惹起するに至りたれば會

社筋に於ては市價保持の爲一時製品の供給中止を議決せるも大勢已に軟調を呈せる矢先此人爲的喰止策は遠からず失敗に終るべしと觀測せらる當市場は支那人向各紙共舊正當ての仕入期を過ぎて稍閑散を告ぐるに至れり

◎落花生實 (一月)

舊正を控へ居れるも米禁輸解けざると銀價暴騰の爲一般買控の姿にて市況沈靜唯怡和洋行の歐洲向小口上物買集めありたる外商談殆んど行はれず相場は上物七圓より並物六圓三十錢見當を保合へり

◎落 花 油 (一月)

一時投賣續出せる爲め十五圓臺割れを見せたる同油は岩城の解合商談纏まると共に一氣に十六圓と持直したるも米國筋氣迷狀態に在り商況不味を入れたれば一般買氣薄く殊に舊正の閑散時の事とて漸く整理時代に入るものゝ如し月末市況弱氣配にて十五圓五十錢を唱へつゝあり

◎石 炭 (一月)

本年は比較的暖かなりし爲め地賣炭の賣行き思はしからず各商店共相當の手持を有し輸入を呼ぶに至らざりしを以て内地相場の變動も當市場に影響なく輸出炭に在りては博山の出炭漸く復舊せりと雖も山鐵貨車繰悪しくして著荷充分ならず常に不足勝に積込まれつゝあり而して德山行淄川粉炭の埠頭滯貨は現在一萬二三千噸に達せるが如斯は稀有の事にして畢竟積取船の回航遅れたる爲なるべし

◎棉 花 (一月)

舊正前は例年安値を呼ぶを例とせるも本年は客年九、十、十一

の三箇月間米綿高に伴れ比較的高値を出したるにより產地懷合好く投賣を爲す者尠かりし爲め相場は豫想外に持耐に月末二十四兩二十錢見當を保合居れるが如上の理由により產地は相當の在荷を有するも賣惜しみの姿にて濟南表出荷著しく減少せる上貨車繰緩和せられず目下尙五六千俵の滯貨を有するの有様なり然るに内地紡績筋は印棉暴落の爲め最近アコカン七十圓見當にて引合出來居れるにも拘らず山東棉は採算七十一二圓を示し七八圓の割高となるを以て全然引合無く勢輸出の不振を招けり

◎牛

肉 (一月)

枝肉の内地輸出は舊臘三千四百頭に上り爾來益好況を持続し現在屠牛場の狹隘を歎するの盛況に在りしが果然牛疫の流行に脅かされて一頓挫を來し奥地大牛の出廻り惡しく買出に困難を感じると貨車繰充分ならざりし爲め著しく輸出の減退を來せり而して市中小賣店も如上の關係上供給充分ならず品不足に乘じ突飛の高値を唱ふるものあれど地賣肉としては毎日十七八頭内外を消化せらるゝに過ぎざるを以て賣價は遠からず復舊すべしと觀測せらるる本月中海外輸出數を示せば日本内地二千五百頭麻尼刺行二百四十四頭浦鹽行七百六頭計三千四百五十頭にして先月に比し四千二百二十六頭の減退を示せり

◎鹽

(一月)

原鹽相場は先月末四圓九十錢と暴騰し未曾有の高値を現はせしが其後益品拂底と買煽りの爲相場は狂騰狀態となり月末六圓二十錢と上放れ殆んど前途測定し難きものあり此拂底相場は政府納鹽終期前迄繼續するものと觀測せらる然れば春鹽契約の如きは賣手買手間多大の値開きありて商談出來惡く未だ纏まりたるものあるを聞かず

◎牛

皮 (一月)

内地相場益弱氣を入れたる爲當市場も買氣薄く加ふるに銀高と舊正前の閑散時期とを控へ商談勢ます月末大皮二十六兩中皮二十四兩小皮二十八兩と弱値を現はせり

◎牛

骨 (一月)

銀高の爲め内地相場と出合はずして買氣更に無く相場は漸落一圓九十錢と落込み市況益軟調を辿れり

◎コ

クス (一月)

内地製鐵界悲觀の影響を受け當地コークスの輸出は一頓挫の有様にして其激減を招致せるが東和の製品を除くの外は商況益振はず市況沈衰せり

◎桐

材 (一月)

昨今の銀高を控へ採算面白からざるも内地に於ける供給不足の爲め銀價の間隙を窺ひ相當の輸出を見つゝあり相場は選材物才十一二錢混合物七八錢見當を保合へり

◎小

麥 (一月)

内地相場は一時八圓七十錢迄昂騰せるも上海粉及濠洲粉の輸入計畫される爲め市場滯貨多く製粉筋も關稅撤廢問題の好望を傳ふるものありたると原料の先安を見越し一般買控の爲月末八圓三十錢と小戻し當市場も其れに伴れ銀四圓三十錢見當を保合へるが銀高の爲商談出合はず新規注文全く入らずして市況稍弱氣を含めり

◎綿

糸 布 (一月)

綿絲、舊正明けの青島綿絲界は相當好況を呈すべしとの豫想は外れて案外不況を持続せしが七日過頃よりポツ／＼と持直し

大阪三品市場も三百九十二圓四十錢(廿三日)と暴騰月始め頃に比し二十圓の上鞘を示したれば青島相場も其に伴れデリ高の好調となり十日頃上海より紅月の纏まりたる入荷ありたるも未だ買氣薄にて市況振はず原產地とは大逆鞘の状態に在りしが其後天津市場二十手物拂底の爲め相場の奔騰に伴れ高陽、饒陽方面より格安なる濟南市場に向つて續々買進來り引續き奧地筋一體買氣付きたる時は茲現物拂底にして年末(廿八日)扇面百七十二兩銀月百六十八兩と昂騰月始めに比し十一二兩の上鞘を示すに至れり然れど爲替高の爲二月中内地よりの入荷殆んど絶々各店共手持を賣盡し居れば例令新入荷ありとも忽ち消化せらるべく市況頗る緊張せり

綿布、内地に於ける生地拂底の爲め相場は非常の高値を現はし當地相場に對し一圓以上の逆鞘を示し居れば殆んど入荷不能の状態に在り加ふるに爲替高の爲却而當地の絲を購入し製織する方遙かに有利となり市況益不味を呈するに至れり然れど月末頃粗布九龍六兩二匁と高値取引あり天竺も亦稍纏まりたる賣行を見せたるも畢竟必需買に過ぎず獨立色物は高價ながら相當の賣行を見せつゝあり

十日		二十日		二十八日	
綿糸	福	助(二十手)	一六二・〇	一六六・〇	一七三・〇
水	月(同)		一六〇・五	一六三・〇	一七二・〇
扇	面(十六手)		一六二・〇	一六三・〇	一七二・〇
紅	月(同)		一六一・五	一六〇・〇	一六六・〇
銀	月(同)		一六二・〇	一六三・〇	一六八・〇
綿布	粗布九部		五・七五	五・九五	六・二
天竺菊			二・八五	三・〇	三・一七五

糖 (二月)

瓜哇糖の歐洲向輸出益盛況を呈するに伴れ原料糖も漸騰減切高値を現はし日本精製筋は割合安原料の持合なく從て充分先高を豫想せる一方買手は現在の相場が突飛の高値を示し居れば幾分先安を見越し買控の態度にて供給地と需要地とは非常の逆鞘を呈し手合行はれず賣買人相方睨合の中に本月を終れり

燐 寸 (二月)

黃燐は北支方面聊か買進みたる爲内地各工場共三月迄殆んど手一杯の注文を引受け漸く二月分を積出せる事情は幾分下り相場を豫期せる市場を引締め手持筋の賣手控と俟て氣配頗る強硬を示せり然れば青島も其に伴れ市況好調を持せしが現品薄と爲替惡しかりし爲め相場はデリ／＼と持上げ月始め日本雜牌二十九兩より月末三十兩五匁迄上押せるも依然品薄の爲め著荷に従ひ消化せらるゝ有様にして月末氣配良好強含みにて保合中本月を終れり青島明石兩工場を有せる青島市場が斯の如き品拂底を示せるは稀有の事にして兩社の營業政策の變更が其因を爲せるものなることは全然否認すべかなず

石 油 (二月)

日本油、内地に於ける石油の不足は遂に拂底相場を現出し未曾有の高値を呼びたるが其後講和と共に外油輸入の途開け幾分緩和せられたるも尙九圓五十錢を唱へ青島相場との間に一圓以上の逆鞘を示し居れるにも拘らず果然本月中頃青蠟蝠印一千箱の輸入を見るに至れるは近頃珍らしき現象なり之れ畢竟安値時代のストツクを有し爲替相場の間隙を採へ得たるものなりとすら尙外油の供給潤澤となりたる今日輕油たる本品の如きは支那市場に向つてのみ其販路を見出し得たる結果に外ならざるべし

外油、タンク船の解傭と共に充分輸送力を回復せる外油は後顧の憂を一掃し得て充分活躍の餘地を生ずるに至れり本月中ス亞兩社の分を併せ約十萬箱の入荷あり相場は堅實に保合へり

◎煙 章 (二月)

日本煙草中賣行最も好きは相變らず「敷島」を第一とし「朝日」之に亞げるも原料の供給不足勝なる爲め朝鮮に於ける生産力に制限あり敷島の如きは製造地たる朝鮮に於てすら毎時品切れの狀態にあり

當地愛煙家の好評を博せる「スピア」は需要範圍自然的に増加し英米トラストの製品たる「ニューヨーク」に對抗し常に優勝なる地歩を占めつゝあり近頃賣出せる「金瓢」は「スピア」に比し品質遙かに優良なるを以て賣出後日尙淺きに拘らず上流社會に歡迎せられ相當の賣行を見せつゝあり又最近支那人向として寶星牌の賣出を開始せり外國煙としては南洋煙草の製品たる「双喜牌」は日支人間に最も評判よく其賣行も悔るべからざる勢を示すに至りたるが「英米トラスト」の「ニューヨーク」も亦之に亞ぎて相當の賣行を見せつゝあり然れど「スリーキャツスル」級上級品の如きは誠に微々たるものにして賣行亦云ふに足らず

◎米 (二月)

内地在米不足の爲朝鮮大手筋買占の影響も在りたれど一般に金融の緩慢を告げ農家も金廻り好くなりたる爲め賣急が正米相場は中旬頃二十錢高を現はせしが月末赤十三圓五十錢と落付き小康を示せり然れど内地農家筋一體に先高を見越し賣惜しみの狀態に在り尠なからざる外米の輸入を見つゝ尙高値を崩さざるを以て米界の前途は尙容易に樂觀を容さず

江蘇米の需要は其後益増加の趨勢にて當地の需要界は殆んど

江蘇米に占有せられたる觀あり相場も收穫期を遠かり在米薄となるに伴れて昂騰毎月十五錢より二十錢位宛デリ〜と上押強氣配を辿り來れるが供給力豊富なる爲め相場は堅實なる足取りを示し月末上米二百封度入一袋十七圓五十錢並十六圓五十錢を唱へ月始めに比し各十錢宛の上鞘となれり

◎紙 類 (二月)

内地の紙界は大勢已に去り一時崩落の氣配を示したるが製紙業者の努力により漸く喰止め三月中は極力現狀を維持せん事を決議せるも市場は一般の經濟狀態に支配され先安を見越し投資を試むるものあり其他大手筋と雖ども高値時代の手持を賣急ぐの風あり相場の標準全く立たず目先の測定し難きものあり殊に新聞用ザラ紙の如きは一時の大暴騰の反動として大暴落時代の必然來らざるべからざるを豫期されつゝあり大勢已に序上の如くなるを以て例令人爲的決議により一時を支へ得たりとするも目的を達し得るや否やは頗る疑問なるが只目下年度變りに當り年中の需要時期たる關係上辛うじて現狀を維持せるに止まるものゝ如し當地は内地相場と比較し幾分安値を示せるも大體内地相場に支配せられ不安定の内に保合へるが上海方面は米紙に押され既に崩落相場の一端を現はせるものゝ如し

◎材 木 (二月)

冬期を過ぎんとして建築界稍活氣を呈し來りたるも北海道は尙暫く積出不可能の狀態に在り其補充として對岸安東材の輸入を呼びつゝあるも同材は昨今急激なる需要増加により産地未曾有の高値を現はし當地需要界に充分なる満足と與ふる能はずと雖ども鴨綠江角材を製材使用するよりも低廉なる爲相當の小口需要あり且同材は注文と同時に荷物を積出し得る利便ありて材

木商間にも多くの手持を蓄ふるの要なく其都度必要丈けの注文を發し居れり相場は產地高の影響を受け幾分の上押すべかりしも海運低落の爲調節の途を見出し得て未だ當地の賣價を引上るに至らず現在白松柱材才十一二錢見當を保合へり

◎木炭 (二月)

需要の盛期を過ぎたる今日弱からざる可からざる木炭相場は尙依然最盛期時代の高値を崩さずと雖ども大勢已に軟調を辿れるは爭ふ可からず現在青島在荷は二萬七八千俵餘に上り各店共潤澤なる手持を控へ居る上各會社筋の自家用木炭の貯藏亦相當の多額に上るべき模様にして目下の青島の需要割合より見れば二箇月以上の貯炭を有する譯なれば中には前途を見越し破格の投賣を試みんとするものあるべしと想像されつゝあり三月一ぱい現在の相場を維持せんことは或は六ヶ敷かるべしと觀測せらる

二月末相場	
九州人吉炭	檜大丸 二、五〇〇
同	六貫俵 三、三〇〇
同	同小丸 三、三〇〇
同	同 雜 三、五〇〇

◎落花生實 (二月)

引續き米國筋不味なるも相場は堅實なる足取りを示し落花生油の暴落を眺めつゝ月末六圓四五十錢見當を保合居れり然れど新手合絶無の状態にして只毎月既約ものゝ積出しを見るのみ市況不振

◎落花生油 (二月)

一時十八圓臺を唱へたる同油は市況振はず漸落の歩調を辿り居たりしが月末十二圓五十錢と落込み新規商談行はれず只二三

思惑賣買を試むるものあるに過ぎず而して内地相場も神戸C I F 二十四圓十五錢四月限二十一二圓見當を彷徨し市場一般氣迷風情にあり米國筋の大注文入らざる限り微々たる日本内地需要のみを以てしては活氣ある市況は到底望み得ざるものゝ如し

◎棉花 (二月)

舊正明けの荷物出廻りは豫期に反し少なりし爲め相場は依然強保合を持續し三十六七弗見當を唱へ居りしが本月に入りてより山鐵貨車繰順調なりし爲め濟南の滞貨を一掃し五千俵程の出廻りありて一月の積遅れを全部積出し得たるも月末山鐵沿線筋需要増加の爲在荷著しく減少し相場は一氣に三弗見當を持上ぐるに至れり而して内地紡績界は米棉及び印棉漸落の爲先安を見越し一齊に買手控に出で製綿筋は不需要期に向ひ是又買見送の状態に在り昨年未稍活況を見せたる支那棉花の日本輸出は前記の事情と米印棉に比し割高の爲一頓挫を來せり

◎石炭 (二月)

毎年舊正前後に亘りて坑夫休業の爲出炭の減少するは免かれざる所なるが本年淄川炭坑は其と前後して坑内に出水あり汲上用電氣ポンプに故障を生せる爲め出炭一時日に二三百噸に減少し其後約一ヶ月を経過するも未だ一千噸に達せず同炭坑の平均額千五百噸に對し尙五百噸以上の不足を生じたる結果地元石炭非常に不足し粉炭を除き一等炭の輸出全然不可能なるのみならず汽船の燃料炭と雖ども淄川炭に供給を求むるは殆んど不可能の状態に陥り當港の需要は専ら開平撫順の兩炭により漸く補充するを得たる實情に在り然れど地賣用としては當地石炭商中相當の貯炭を有するものありさしたる荷動き無く市況寧ろ閑散なり

◎ コークス (二月)

コークスの内地需要は製鐵界不振に伴れ一頓挫を來し新規注文入らず只約定ものを積出し居るのみなれば市況漸く沈衰し曩日の面影無し博山に於けるコークス原料炭の出炭も種々なる關係上思はしからざるを以て三分の二以上のコークス窯は昨今其作業を中止するに至れり

◎ 鹽 (二月)

政府納鹽終期の逼迫に伴れ灣鹽積取船の往復頻繁を極むるに至りたるが海運界益軟調を呈し運賃暴落の爲納鹽者側の意氣込盛んにして採算の容す限り現物を買競ひ一方朝鮮方面も鹽價暴騰の爲め灣鹽に注目し盛んに買付を開始し廻船の都合によりては算盤以外に買廻りたればさらでに現品薄の市場は一氣に十圓見當迄沸騰せるも尙纏まりたる賣物無く遂に月末十二圓といふ未曾有の拂底相場を實現するに至れり

然れば先物相場の如きも混亂状態となり前途の見定め付かず一部思惑買付と仲間同志の轉賣盛んに行はるゝのみ殆んど歸決する所を知らず四五月物約八圓見當を稱へつゝ本月を終れり

◎ 牛 皮 (二月)

本年は例年に比し荷物の出廻り尠なき關係もありたれど内地牛皮界の手持悉く消化されて買氣を呼びたると日本向爲替好順の爲め支那人側一齊買進み今迄伸び悩みたる青島相場は急に大皮三十兩五匁中皮二十九兩小皮三十五兩と暴騰此邊にて鳥渡頭を打ちたる形勢を示せり特種なる事情の生ぜざる限り當分此高値を保合ふならんと觀測せらる

◎ 牛 骨 (二月)

出盛り時期なるにも拘らず濟南方面の荷物出廻減少し本月中

十一二車の出荷を見たるのみ沿岸筋殊に海州沿岸地方よりの出荷全然絶われば當市場に出廻るべき荷物は非常に拂底となり自然相場の向上を促したるが内地も肥料高の爲め需要筋の買進みあり月中頃茲二圓三十錢迄上押保合へり、骨粉は内地肥料高の爲益好況に向ひ昨年末噸百九圓より漸騰月末百十六七圓見當を稱へつゝあれども當地は前記の次第にて原料不足の爲め各製造工場共殆んど作業休止の有様なり

◎ 牛 肉 (二月)

牛疫猖獗の爲め一時大牛の出廻り薄くして所要の頭數を得るに困難を感せる上不合格牛を續出したれば輸出は稍不況を呈せしが本月に入りてより極力奥地の買出に従事せる爲め持直し相場も枝肉(骨付)百匁九錢より九錢五厘と堅實に保合再び盛況を回復せり殊に日本内地への輸出には時候の制限あるを以て本月に於ける各商店の活躍目覺しきものあり其輸出數は遂に三千五百餘頭に上り本年中の最高記録を作り掉尾の盛況を呈するに至れり然れば本年初期(七年十月)より本月迄の内地輸出牛は一萬千百三十三頭に上り例年比なき盛況を示せるのみならず本年の實驗により將來内地の食牛不足は豊富なる山東牛を以て補填し得ること及び内地の食肉慾は微々たる本年の輸出を以て甘んずるものに非ざるの證明を得たり其他本月中の麻尼刺行は千四百頭浦鹽行は三百八十頭ありて合計五千二百八十七頭の輸出を見たり

◎ 小 麥 (二月)

久敷不況の裏にありし小麥界は内地製粉筋一體餘り好況ならざりしも期米高の爲め相場は自然手堅く月始八圓二十錢見當を

保合當地相場と出合たる爲一齊に期近物を買進み可なりの手合行はれ相場も茲四圓四十錢迄漸騰堅實なる足取を見せたりしが西貢米の條件付解禁と江蘇、安徽米の輸出好望を傳へたる爲め一般人氣々崩の氣味にて米價も亦暴落の徵候現はれたれば内地相場は急に月末七圓五十錢と落込み其に伴れ當地も月末四圓二十錢と下押漸落步調を辿り始めたるにより本年の豊作を見越せる手持筋は聊か狼狽の氣味にて手持を賣急ぎ益々相場の不味を招くに至れり然れば現在の青島相場は内地相場に對比し寧ろ逆鞘の狀態に在りと雖ども要するに爲替の問題にして此關係有利なる場合は尙ほ相當輸出の途開くるに至るべし

法 規

軍告示第四十九號

青島商品陳列館規程左ノ通定メ大正八年三月十一日ヨリ之ヲ施行ス

大正八年三月九日 青島守備軍司令官 大島 健一

青島商品陳列館規程

第一章 總 則

第一條 青島商品陳列館ノ位置ハ青島葉櫻町トス

第二條 本館ハ日支貿易ノ發展ヲ圖ルヲ以テ目的トシ其ノ業務ノ概目左ノ如シ

一 日支兩國ノ商品及參考品ノ陳列並説明

二 日支商品ノ改良ノ指導

三 一般商取引及商工業者ノ紹介

四 館報及陳列品目錄ノ發行並圖書ノ閱覽

五 商工業ニ關スル内外公設ノ諸機關ト通信及印刷物ノ交換

六 貿易及企業ニ關スル調査及報告

七 一般企業ニ關スル紹介

八 其ノ他貿易及企業ノ獎勵發展ニ關スル施設

第三條 陳列品ノ種類ハ現ニ日支貿易品タルモノ若ハ將來貿易品タル見込アルモノ並貿易上ノ參考トナルヘキモノトス

第四條 陳列品ハ日本品支那品及參考品ノ三部ニ分ツ

第五條 館報及陳列品目錄ハ隨時刊行シ出品人及一般希望者ニ之ヲ頒布ス

第二章 出品及寄贈

第六條 陳列品ヲ出品若ハ寄贈セムトスル者ハ別記書式ノ目錄並説明書ヲ本館ニ提出シ承諾ヲ受クヘシ

第七條 左記各號ニ該當スル物品ハ出品ヲ爲スコトヲ得ス

一 公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スルモノ

二 衛生上有害ノ虞アルモノ

第八條 爆裂又ハ發火性ノ物其ノ他危險ノ虞アリト認ムル物ハ其ノ模型又ハ包裝ノミニ非サレハ之ヲ陳列スルコトヲ得ス

第九條 出品ノ許可又ハ寄贈ノ諾否ハ本館ニ於テ之ヲ決定シ豫メ申出人ニ通知ス

第十條 出品ノ許可又ハ寄贈承諾ノ通知ヲ受ケタルトキハ出品人又ハ寄贈者ハ堅牢ナル荷造ヲ爲シ遲滞ナク本館ニ送付スヘシ

第十一條 出品物又ハ寄贈品ヲ本館ニ於テ受領シタルトキハ其ノ旨本人ニ通知ス

第十二條 出品人ハ出品物ノ返還又ハ引替ヲ請求スルコトヲ得

第十三條 本館ハ必要ニ應シ相當ノ期間ヲ定メ出品人ニ對シ出品物ノ撤去又ハ取替ヲ促スコトアルヘシ

第十四條 出品人ハ目錄及説明書ニ記載シタル事項ニ變動ヲ生シタルトキハ直ニ本館ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ但シ必要ト認ムルトキハ本館ニ於テ適宜之ヲ變更スルコトアルヘシ

第十五條 出品物陳列ノ位置其ノ他陳列ノ方法ハ本館適宜之ヲ定ム

第十七條 出品人ハ本館ノ承諾ヲ得テ出品物陳列ノ個所ニ限リ
特ニ裝飾ヲ施スコトヲ得但シ之ニ要スル費用ハ總テ出品人ノ
負擔トス

第十九條 出品人ノ負擔スヘキ運賃ノ未拂ニ係ル出品物ハ本館ニ於テ之ヲ受領セサルコトアルヘシ

第三章 縱覽

第二十一條 縦覽ハ日曜日其ノ他一般公休日ヲ除クノ外毎日午前九時ヨリ午後四時迄トス但シ時宜ニ依リ臨時縦覽ヲ謝絶シ又ハ縦覽時間ヲ伸縮スルコトアルヘシ

第二十二條 本館ノ縦覧ハ無料トス

- 一 物件ヲ携帶シ又ハ畜類ヲ牽キテ入場セサルコト
- 二 館員ノ許諾ヲ經スシテ濫ニ陳列品ニ手ヲ觸レサルコト
- 三 喫煙竝痰壺以外ニ略痰ヲ爲ササルコト
- 四 下駄履キノ儘入場セサルコト
- 五 館員ノ指揮ニ背カサルコト

覽ヲ拒絶シ又ハ退場ヲ命スルコトアルヘシ
第二十五條 縦覽人物品ヲ破損シタルトキハ本館ノ指定ニ依リ
其ノ損害ヲ賠償セシムルコトアルヘシ

第四章 評議員

囑託
ス

第二十八條 評議員ハ商品陳列館ニ關スル重要事項ニ付官ノ諮問ニ應シ又ハ自ラ意見ヲ開陳スルコトヲ得

出品(又ハ寄贈品)目錄

(用紙小半紙形)

		番號
		品名
		形狀品
		數量又
		筒數
		小賣
		價
		卸賣
		格
		商標
		備考

右出品又ハ寄贈致度候條此段相願候也

年 月 日 住所職業 氏 名印
青島商品陳列館宛
說明書

- 一品名
- 一產地及製造場
- 一製造人名
- 一箇年產額
- 一箇年販賣額
- 一商號
- 一販路又ハ輸出先
- 一原產地仕送ノ際ニ於ケル荷造費及手數料
- 一運賃及諸掛
- 一用途用法及特別ノ效用
- 一註文ニ應シ得ベキ最大限量

注意

撮影又ハ模寫ヲ欲セサルモノハ「禁撮影」「禁模寫」ノ三字ヲ

附記スルコト

秘密ヲ要スル事項ハ「秘」ト附記スルコト

◎大麥小麥及小麥粉ノ輸入稅

減免ニ關スル法律

法律第二十八號

政府ハ當分ノ內勅令ヲ以テ期間ヲ指定シ大麥、小麥及小麥粉ノ輸入稅ヲ低減又ハ免除スルコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

倫敦銀塊相場

一 月 中		二 月 中	
一日	四十八片十六分七	十一日	同
二日	同	十二日	四十七片八分七
三日	同	十三日	同
四日	同	十四日	四十八片十六分七
五日	同	十五日	同
六日	日曜	十六日	同
七日	四十八片十六分七	十七日	同
八日	同	十八日	同
九日	同	十九日	日曜
十日	同	二十日	四十八片十六分七
十一日	同	廿一日	同
十二日	同	廿二日	同
十三日	同	廿三日	同
十四日	同	廿四日	同
十五日	同	廿五日	同
十六日	同	廿六日	同
十七日	同	廿七日	同
十八日	同	廿八日	同
十九日	同	廿九日	同
二十日	同	三十日	同
三十一日	同		

寄贈書類

(一月及二月)
(到著の分)

○月 報 第一四一號 名古屋商業會議所
○福井商工人名錄 福井商業會議所

○鐵工時報	第五年 自第二號至第四號	東京鐵工時報社
○官報	自第一九二八號至第一九六五號	印局
○官報號	貴族院議事速記錄 自第六號至第一號	右同
○右同	衆議院議事速記錄 自第二號至第一號	右同
○上海海	自第三一五號至第三一五號	上海同申社
○岐阜商報	第五九號	岐阜商業會議所
○部報	自第二五〇號至第二六二號	青島守備軍民政部鐵道部
○山東公論	自第二四九號至第二五〇號	山東公論社
○保險銀行時報	自第九一四號至第九一四號	東京保險銀行時報社
○週報	自第三五九號至第三五九號	上海日本人實業協會
○岡山商工彙報	第一三三號	岡山商工彙報社
○週報	自第一二四號至第一二四號	天津商業會議所
○氣象年報	大正六年度	青島測候所
○上海經濟時報	第五三號 第五四號	上海經濟時報社
○月報	第七九號	下關商業會議所
○門司商工會月報	第六八號	門司商工會
○月報	第二六七號	橫濱商業會議所
○青ニ於ケル物價	大正七年十一月三十日 大正七年十二月十五日	青島守備軍司令部
○經濟資料	第五卷 第二號	南滿鐵道株式會社
○炭價昂騰の趨勢及其調節策	時局影響調查第七回	名古屋商業會議所
○炭價調節ニ關スル調査資料		東京商業會議所調查課
○所報	第一〇號	東京商業會議所
○所報	第一五四號	函館商業會議所
○朝鮮經濟雜誌	第三七號	京城商業會議所
○改支那輸入稅率表		大連商業會議所
○月報	第二五號	平壤商業會議所
○內外商工時報	第六卷 第二號	農商務省商品陳列館
○通商彙報	第二三號	大阪府立商品陳列所
○時報	第四卷第十二號	神戸商業會議所
○貿易通報	第一四〇號	大阪商業會議所
○月報	第一七八號	宇都宮商業會議所
○內報		青島興信所
○上海貿易統計月報	大正七年五月中	上海日本人實業協會
○遠東時報	大正八年二月號	上海遠東時報社
○青島商報	第二卷 第二號	青島商業組合
○蒙滿實業彙報	第四四號	大連商業會議所
○山東經濟時報	第二卷 第二號	山東經濟時報社
○月報	第三二號	熊本商業會議所
○月報	第一〇六號	仁川商業會議所
○埠頭月報	大正八年一月	青島民政部鐵道埠事務所
○週報	自第三五三號至第三五六號	上海日本人實業協會
○月報	第二四號	平壤商業會議所
○朝鮮經濟雜誌	第三六號	京城商業會議所
○貿易通報	第二三八號第一三九號	大阪商業會議所
○月報	第二六六號	橫濱商業會議所
○青島商報	第二卷 第一號	青島商業組合
○山東公論	第三七號第三八號	山東公論社
○東洋植民新聞山東版	第八年第二六號	東洋殖民新聞社
○月報	第四五號	安東商業會議所
○所報	第一五三號	函館商業會議所
○上海海	第三〇八號第三〇九號	上海同申社
○岡山商工彙報	第一二九號	岡山商工彙報社

○岐阜商報	第五八二號	岐阜商業會議所
○主要工業原料ノ確保ニ關スル案	第二棉花	東京商業會議所
○月報	第七八號	下關商業會議所
○時報	第四卷第二一號	神戸商業會議所
○青島港貿易統計	大正七年十一月分	青島守備軍司令部
○內外商工時報	第六卷 第一號	農商務省商品陳列館
○月報	第一七七號	宇都宮商業會議所
○經濟資料	第五卷 第一號	南滿洲鐵道株式會社
○統計年報	大正六年	大阪商業會議所
○鐵工時報	第五年 第一號	東京鐵工時報社
○茂本經濟年報	大正七年上半年期	茂本總本店調查係
○週報	自第一一七號至第一一二號	天津商業會議所
○上海經濟時報	第五一號 第五二號	上海經濟時報社
○月報	第一一〇五號	仁川商業會議所
○門司商工會月報	第六七號	門司商工會
○上海貿易統計月表	大正七年四月分	上海日本人實業協會
○遠東時報	一九一九年第號	上海遠東時報社
○所報	第九號	東京商業會議所
○保險銀行時報	第九〇九號第九一〇號	保險銀行時報社
○月報	第六三號	仙臺商業會議所
○月報	第三三一號	熊本商業會議所
○上海	自第三〇八號至第三一一號	上海春申社
○滿蒙實業彙報	第四三號	大連商業會議所
○埠頭月報	大正七年十二月分	青島守備軍民政部鐵道部
○名古屋市商工業概觀	大正六年	名古屋商業會議所
○滿州ニ於ケル支那側金融機關ト通貨	調查資料第六輯	南滿鐵道株式會社

○山東省ニ於ケル農業ト家畜(豚)
第五編 青島守備軍司令部
○青島港則 第五編 青島守備軍司令部

圖書彙報

協會備付圖書中ニ最辻左記書籍ヲ加フ

福昌公司調查部編纂

●滿蒙通覽

●同上

●同上

安原美佐雄編著

●支那の工業と原料

青島守備軍

●第三統計年報

●The Far Eastern Review (1919)

●第四十一回帝國議會第一記錄

●官報

●通商公報

●內外商工時報

●公報

●鐵道部報

右會員及一般希望者ノ閱覽ニ供ス

上編 中編 下編
第壹卷 上下
壹册

國籍	男女別	大連	大連戶	門其ノ司他	朝鮮	上海	芝罘	威海衛	海州	山東省	江蘇省	福建省	關東州	計
露國	人	6	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	8
和蘭	人	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
瑞西	人	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
丁抹	人	2	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	2
	人	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1
合	計	1,528	111	347	40	125	38	3	238	198	90	1	16	2,795
	計	228	82	186	14	22	8	—	10	15	2	—	—	567
	計	1,756	193	533	54	147	46	3	308	213	92	1	16	3,362

青島大港兩驛乘降客人員 (一月中)

驛別	一 等 車		二 等 車		三 等 車		計	
	乘	降	乘	降	乘	降	乘	降
青島驛	155	118	617	628	19,663	29,374	20,435	30,120
大港驛	5	44	13	184	126	9,176	144	9,404
合 計	160	162	630	812	19,789	38,550	20,579	39,524

青島屠獸場屠獸數 (二月中)

日次	牛	犢	豚	羊	山 羊	計
三	17	—	—	—	—	17
五	115	—	26	2	—	143
六	156	—	8	—	—	164
七	121	2	28	2	—	153
八	344	—	31	—	—	375
十	351	1	53	3	—	408
十	598	—	37	2	—	637
二	62	—	62	1	—	125
三	85	—	66	1	—	152
四	418	—	23	3	—	445
五	599	—	7	—	—	606
七	334	—	6	—	—	340
八	157	1	13	2	—	173
九	293	—	16	2	—	311
十	485	—	16	26	—	527
十一	568	1	43	2	—	614
十二	319	—	25	—	—	344
廿	335	—	29	1	—	365
廿一	317	—	73	2	—	392
廿二	458	—	—	—	—	458
廿三	352	—	—	1	—	353
合 計	6,484	5	562	50	1	7,102
一月以降累計	10,595	6	1,718	137	1	12,457

青島港出入船舶旅客表 (一月中)

●印ハ帆船出入旅客ヲ示ス

入 港 上 陸 ノ 部

國	籍	男女別	大連	大神 阪戸	門其ノ 司他	朝 鮮	上 海	芝 罘	香 港	マニラ	威海衛	浦 鹽	海 州	山東省	江蘇省	福建省	關東州	計
日 本	人	男	226	115	300	12	15	6	—	—	1	—	1	—	—	—	—	676
		女	41	58	142	5	2	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	257
支 那	人	"	8,125	25	11	76	196	357	481	—	—	439	141	220	91	1	19	10,182
		"	395	—	—	—	24	33	110	—	—	7	12	87	6	—	—	674
英 國	人	"	2	—	—	—	1	3	—	—	1	—	—	—	—	—	—	7
		"	2	—	—	—	5	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	8
米 國	人	"	—	—	—	—	1	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	3
		"	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1
露 國	人	"	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5
		"	2	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6
葡 萄	人	"	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
		"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
丁 抹	人	"	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
		"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
和 蘭	人	"	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
		"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	人	"	8,357	140	311	88	215	368	481	1	2	441	142	220	91	1	19	10,877
		"	443	58	142	5	35	39	110	1	1	7	12	87	6	—	—	946
		"	8,800	198	453	93	250	407	591	2	3	448	154	307	97	1	19	11,823

出 港 乘 船 ノ 部

國	籍	男女別	大連	大神 阪戸	門其ノ 司他	上 海	朝 鮮	芝 罘	臺 灣	海 州	山東省	江蘇省	福建省	關東州	計
日 本	人	男	194	106	347	14	32	—	—	1	—	—	—	—	694
		女	34	82	186	10	9	—	—	—	—	—	—	—	321
支 那	人	"	1,317	5	—	26	86	38	1	297	198	90	1	16	2,075
		"	187	—	—	4	9	8	—	10	15	2	—	—	235
英 國	人	"	7	—	—	—	3	—	2	—	—	—	—	—	12
		"	5	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	7

仕 向 地	日 本 船			英 國 船			米 國 船			露 國 船			支 那 船			計		
	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數
上 芝 天 其ノ他支那沿岸 臺 灣	18	15,097	5	5,625	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23	20,722	—
海 杲 津	—	—	1	1,222	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1,222	—
釜 仁 香 マ 浦 其ノ他外國	10	1,486	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	1,486	—
釜 仁 香 マ 浦 其ノ他外國	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
釜 仁 香 マ 浦 其ノ他外國	3	1,006	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1,006	—
釜 仁 香 マ 浦 其ノ他外國	4	1,632	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	1,632	—
釜 仁 香 マ 浦 其ノ他外國	1	564	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1,534	—	3	2,098	—
釜 仁 香 マ 浦 其ノ他外國	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
釜 仁 香 マ 浦 其ノ他外國	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1,831	—	—	—	—	2	1,831	—
釜 仁 香 マ 浦 其ノ他外國	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	86	56,423	6	6,947	1	2,510	2	1,831	3	2,088	98	69,705						

入港汽船揚荷噸數國籍別 (一 月 中)

汽船國籍別	日 本 內 地			臺 灣	朝 鮮	大 連	上 海	芝 杲	天 津	其ノ他支那港	香 港	其 他 外 國	計
	大 阪 神	門 司 其ノ他	其ノ他										
日 本 國 籍	5,117.5	4,682.4	84.9	285.1	2,134.4	7,753.0	5.5	—	101.0	—	—	—	20,163.8
英 國 國 籍	—	—	—	—	—	384.2	5.9	—	25.1	1,548.6	—	—	1,973.8
米 國 國 籍	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
露 支 那 國 籍	—	—	—	—	—	—	41.3	—	—	—	—	—	41.3
支 那 國 籍	300.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	300.7
合 計	5,418.2	4,682.4	84.9	285.1	2,134.4	8,147.2	52.7	—	126.1	1,548.6	—	—	22,479.6

出港汽船積荷噸數國籍別 (一 月 中)

汽船國籍別	日 本 內 地			臺 灣	朝 鮮	大 連	上 海	芝 杲	天 津	其ノ他支那港	香 港	浦 鹽	マ = ラ	其 他 外 國	計
	大 阪 神	門 司 其ノ他	其ノ他												
日 本 國 籍	14,651.8	23,731.6	36.3	5,525.1	4,809.9	12,438.5	69.5	—	32.0	1,300.0	—	—	—	0.9	62,595.6
英 國 國 籍	—	—	—	—	—	1,872.0	1.5	—	—	—	—	—	—	—	1,873.5
米 國 國 籍	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	300.0	—	—	300.0
露 支 那 國 籍	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,118.0	—	—	—	1,118.0
支 那 國 籍	—	—	—	—	—	—	—	—	292.0	239.1	—	—	—	—	531.1
合 計	14,651.8	23,731.6	36.3	5,525.1	4,809.9	14,310.5	71.0	—	324.0	1,539.1	1,118.0	300.0	—	0.9	66,418.2

出入汽船及積卸貨物數量 (一 月 中)

區 別	汽 船 數				積 卸 貨 噸 數	一 月 以 降 累 計				積 卸 貨 噸 數
	隻 數			登 簿 噸 數		隻 數			登 簿 噸 數	
	載貨船	空 船	計			載貨船	空 船	計		
入 港	67	34	101	71,171	22,479.6	67	34	101	71,171	22,479.6
出 港	87	11	98	69,705	68,431.6	87	11	98	69,705	68,431.6
計	154	45	199	140,876	90,911.2	154	45	199	140,876	90,911.2

備考本表船積貨物中船用石炭ヲ含ム

出入汽船仕出仕向地別 (一 月 中)

入 港 ノ 部

仕 出 地	日 本 船			英 國 船			米 國 船			露 國 船			支 那 船			計		
	隻數	登 噸	簿 數	隻數	登 噸	簿 數	隻數	登 噸	簿 數	隻數	登 噸	簿 數	隻數	登 噸	簿 數	隻數	登 噸	簿 數
日 本 內 地	35	26,849	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	554	36	27,403	—	—
大 連	21	15,389	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1,534	23	16,923	—	—
上 海	17	11,804	1	1,073	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	18	12,877	—	—
芝 罘	—	—	4	4,552	—	—	—	—	—	2	1,831	—	—	—	6	6,383	—	—
天 津	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其ノ他支那沿岸	9	1,096	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	1,096	—	—
臺 灣	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
釜 山	1	309	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	309	—	—
仁 川	6	2,448	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	2,448	—	—
香 港	—	—	1	1,222	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1,222	—	—
マニラ	—	—	—	—	—	1	2,510	—	—	—	—	—	—	—	1	2,510	—	—
浦 田	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其ノ他外國	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	89	57,895	6	6,847	1	2,510	2	1,831	3	2,988	101	71,171	—	—	—	—	—	—

出 港 ノ 部

仕 向 地	日 本 船			英 國 船			米 國 船			露 國 船			支 那 船			計		
	隻數	登 噸	簿 數	隻數	登 噸	簿 數	隻數	登 噸	簿 數	隻數	登 噸	簿 數	隻數	登 噸	簿 數	隻數	登 噸	簿 數
日 本 內 地	33	25,043	—	—	—	—	1	2,510	—	—	—	—	—	—	—	34	27,553	—
大 連	17	11,601	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	554	18	12,155	—	—

品 目	單位	日本内地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
豚油	噸	—	—	—	—	—	—
蓖麻子油	"	85.0	—	—	—	—	85.0
其ノ他油類	"	—	—	—	—	—	—
藥染料及塊料	"	—	17.1	—	3.3	—	20.4
綿絲	"	13.9	—	—	0.1	—	14.0
絹絲	"	—	—	—	42.5	—	42.5
絹屑	"	—	—	—	24.5	—	24.5
麻	"	—	—	—	14.5	—	14.5
棉花	"	—	—	—	—	—	—
繭 (屑ヲ含ム)	"	1,052.6	215.0	—	63.2	—	1,335.8
綿布	"	—	—	—	—	—	—
絹布	"	—	—	—	88.3	—	88.3
麻袋類	"	—	1.4	—	25.9	—	27.3
紙	"	0.4	—	—	1.5	—	1.9
溜川炭	"	—	—	—	5.2	—	5.2
博山炭	"	1,100.0	—	—	4,495.1	700.0	6,295.1
撫順炭	"	—	—	—	2,670.0	600.0	3,270.0
日本炭	"	—	—	—	—	—	—
コークス	"	4,505.0	—	—	0.4	—	4,505.4
陶磁器	"	—	—	—	—	—	—
硝子及同製品	"	46.1	—	—	49.2	—	95.3
鐵 (古鐵ヲ含ム)	"	149.5	—	—	0.3	—	149.8
眞鍮塊	"	—	—	—	—	—	—
其ノ他金屬	"	0.2	—	—	—	—	0.2
金屬製品	"	30.6	—	—	17.0	—	47.6
機械	"	12.6	—	—	—	—	12.6
車輛	"	—	—	—	5.0	—	5.0
桐材	"	669.9	—	—	—	—	669.9
其ノ他木材	"	—	—	—	6.5	—	6.5
麥稈	"	123.6	—	—	48.5	0.9	173.0
家具	"	7.1	—	—	12.5	—	19.6
豆粕	"	467.9	—	—	—	—	467.9
燐寸	"	—	—	—	—	—	—
セメント	"	—	—	—	—	—	—
石油	"	—	25.0	—	—	—	25.0
貴重物品	"	—	—	—	5.2	—	5.2
其ノ他	"	543.9	1.1	—	87.9	0.4	633.3
合 計	"	38,383.4	5,525.1	36.3	19,515.4	2,958.0	66,418.2

埠頭船積貨物噸數仕向地別 (一月中)

品目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
生牛	噸	—	—	—	—	—	—
其ノ他動物	"	—	—	—	—	—	—
落花生實類	"	2,039.5	—	—	1,444.4	34.4	3,518.3
豆類	"	—	—	—	11.4	—	11.4
其ノ他穀類及種子	"	6,874.3	0.6	—	49.9	9.7	6,934.5
麥粉	"	—	0.1	—	111.6	—	111.7
蔬菜	"	0.3	0.3	—	272.0	106.4	379.0
果實	"	35.9	1,127.3	—	92.4	22.1	1,277.7
核子	"	—	2.0	—	4.3	—	6.3
白砂糖	"	—	—	—	—	—	—
赤砂糖	"	—	—	—	—	—	—
冰鮮魚	"	—	—	—	—	—	—
其ノ他海產物	"	3.0	0.1	—	2.5	—	5.6
牛肉	"	592.9	—	—	49.7	1,228.0	1,870.6
鹽豚肉	"	—	—	—	—	—	—
其ノ他獸肉	"	1.2	—	—	—	—	1.2
豆素麵	"	—	—	—	—	—	—
鷄卵	"	0.5	—	—	—	—	0.5
卵製品	"	0.6	—	—	59.0	—	59.6
麥酒	"	0.2	—	—	100.0	—	100.2
其ノ他酒類	"	—	—	—	0.2	—	0.2
鹽	"	14,154.3	4,135.0	—	—	—	18,289.3
其ノ他食料品	"	—	0.1	—	0.3	—	0.4
煙草	"	—	—	—	7.2	—	7.2
葉煙草	"	59.5	—	—	5,039.4	—	5,098.9
獸骨	"	120.8	—	—	—	—	120.8
骨粉	"	537.6	—	36.3	—	—	573.9
牛皮	"	269.9	—	—	6.3	—	276.2
其ノ他獸皮	"	—	—	—	3.9	—	3.9
羊毛	"	—	—	—	3.0	—	3.0
豚毛	"	5.6	—	—	32.5	—	38.1
落花生油	"	4,764.0	—	—	4,433.8	174.6	9,372.4
豆油	"	—	—	—	—	—	—
牛油	"	115.2	—	—	120.0	81.5	316.7

品目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其他外國	計
染料及塗料	噸	176.7	—	—	17.4	—	194.1
綿絲	"	1,272.4	—	—	1,306.6	—	2,579.0
絹絲	"	—	—	—	10.6	—	10.6
麻	"	—	—	—	—	—	—
棉花	"	7.0	—	—	0.4	—	7.4
棉布	"	344.7	—	—	295.6	—	640.3
絹布	"	—	—	—	0.1	—	0.1
麻袋	"	45.8	—	—	—	—	45.8
洋物雜貨	"	125.5	—	—	11.0	27.7	164.2
日本紙	"	40.2	—	—	—	—	40.2
洋紙	"	27.5	—	—	11.0	—	38.5
支那紙	"	—	—	—	2,025.0	0.4	2,025.4
石炭	"	673.0	—	—	—	—	673.0
セメント	"	177.9	—	—	107.2	—	285.1
煉瓦及瓦	"	29.0	—	—	—	—	29.0
陶磁器	"	86.2	0.3	—	3.1	—	89.6
硝子及同製品	"	123.0	2.1	1.6	3.1	—	129.8
鐵(古鐵ヲ含ム)	"	442.0	0.5	—	11.1	172.4	626.0
其他金屬	"	24.2	—	—	124.8	0.2	149.2
金屬製品	"	588.9	78.4	—	927.2	1.0	1,595.5
機械	"	104.5	—	—	30.7	—	135.2
電氣用品	"	74.5	—	—	14.2	—	88.7
車輛	"	10.2	0.6	—	4.3	—	15.1
竹材	"	1.8	—	—	339.6	—	341.4
木材	"	2,501.7	—	—	1,038.7	—	3,540.4
構寸材料	"	501.4	—	—	—	—	501.4
木炭	"	174.3	1.5	—	37.3	—	213.1
蓮炭	"	93.2	38.8	—	—	—	132.0
家具	"	14.5	2.6	—	28.6	—	45.7
豆箱	"	—	—	—	20.8	—	20.8
阿貴重片	"	—	—	—	—	—	—
其重片	"	0.3	—	—	10.7	—	11.0
其他	"	359.7	16.4	—	320.0	33.4	729.5
合計		10,100.6	285.1	84.9	10,460.4	1,548.6	22,479.6

埠頭陸揚貨物噸數仕出地別 (一 月 中)

品 目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
白豆	米類	噸 14.7	50.8	—	21.7	—	87.2
高粱	梁	噸 6.0	5.1	—	4.4	—	15.5
蜀黍	黍	—	—	—	—	—	—
小麥	麥	—	—	—	—	—	—
其ノ他穀類及種子	粉	噸 30.5	—	—	5.8	—	36.3
麥	粉	—	—	—	546.8	—	546.8
蔬菜	菜	噸 32.1	—	—	26.5	—	58.6
果實	實	噸 452.2	2.9	—	88.4	—	543.5
茶	茶	噸 15.5	—	—	56.5	—	72.0
白砂	糖	噸 3.9	—	83.3	142.6	594.9	824.4
赤砂	糖	—	—	—	—	566.4	566.4
冰糖	糖	噸 46.7	—	—	17.8	65.5	130.0
鮮魚	介	噸 107.2	—	—	5.1	—	112.3
昆布及海藻	草	噸 116.9	—	—	—	—	116.9
其ノ他海產物	酒	噸 24.7	33.7	—	47.3	2.0	107.7
日本酒	酒	噸 106.4	5.0	—	4.4	—	115.8
洋酒	酒	噸 0.9	—	—	10.3	—	11.2
支那酒	酒	—	—	—	22.1	—	22.1
麥酒	酒	噸 10.1	—	—	—	—	10.1
清涼飲料	料	噸 7.9	—	—	0.6	—	8.5
醬油	油	噸 24.0	13.7	—	5.1	—	42.8
味噌	噌	噸 1.5	5.3	—	—	—	6.8
其ノ他食料品	品	噸 107.9	4.6	—	142.9	21.3	276.7
煙草	草	噸 121.1	19.0	—	1,726.7	—	1,866.8
皮革	類	噸 4.9	—	—	0.5	3.0	8.4
石油	油	—	—	—	—	—	—
桐油	油	—	—	—	61.2	—	61.2
其ノ他油類	類	噸 44.2	3.8	—	247.8	—	295.7
蠟燭	燭	噸 0.2	—	—	64.3	—	64.5
石藥	鹼	噸 15.5	—	—	12.3	—	27.8
燐	品	噸 48.0	—	—	500.3	60.7	609.0
	寸	噸 737.7	—	—	—	—	737.7

品 目	單 位	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
羊 毛	發著	—	0.1	—	—	—	—	0.1
獸 骨	"	—	—	14.9	—	—	—	14.9
牛 皮	"	613.0	—	76.4	—	—	—	689.4
豚 皮	"	—	—	—	—	3.0	—	3.0
魚 類	"	64.3	15.5	57.8	0.2	40.7	—	178.5
昆布其ノ他海草	"	—	—	—	—	—	—	—
燐 寸 材 料	"	13.5	4.2	—	—	—	—	17.7
火 藥 類	"	137.5	4.9	—	—	—	0.1	142.5
銅 貨	"	0.3	0.8	—	—	—	—	1.1
青 銅 錢	"	97.7	0.4	42.8	—	30.0	—	170.9
銅 家 具	"	—	—	—	—	—	—	—
麻 袋 及 布 袋	"	—	—	—	—	86.3	—	86.3
冰	"	—	—	—	—	—	—	—
容 器 類	"	15.0	—	—	—	—	—	15.0
其 ノ 他	"	869.5	8.3	2.7	—	9.5	3.4	893.4
豚 生 牛 肉	"	121.8	2.3	1.0	0.7	—	—	125.8
合 計	"	141.0	3.4	75.8	—	15.0	—	235.2
備 考	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	—	—	—	—	138.9	—	138.9
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	—	0.7	—	—	—	—	0.7
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	—	—	—	—	—	—	—
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	4.9	2.6	—	—	—	—	7.5
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	—	—	—	—	—	—	—
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	9.9	3.4	—	—	—	—	13.3
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	—	—	—	—	—	—	—
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	12.0	0.2	—	—	—	—	12.2
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	—	—	—	—	27.0	—	27.0
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	1.0	0.2	—	—	—	—	1.2
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	55.4	3.3	—	—	—	0.9	59.6
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	—	1.3	—	0.2	—	—	1.5
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	—	23.0	4.4	—	4.5	—	31.9
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	1.2	1.2	0.6	1.4	—	—	4.4
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	—	—	—	—	—	—	—
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	719.8	—	—	—	—	—	719.8
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	—	—	—	—	—	—	—
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	75.7	6.5	—	—	21.5	—	103.7
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	56.8	19.7	42.9	—	—	5.0	124.4
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	23.5	9.9	471.2	5.2	5.0	—	514.8
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	—	—	—	—	—	—	—
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	11	—	—	—	—	—	11
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	25	—	—	—	—	—	25
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	2,291	—	—	—	—	—	2,291
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	—	—	—	—	—	—	—
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	—	—	—	—	187.2	—	187.2
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	3,499.5	259.5	1,536.9	—	1,971.5	518.8	7,775.4
埠 頭 荷 扱 所 小 口 合 計 中 連 絡 貨 物	"	7,712.7	112.7	12,103.4	11.1	12,094.9	—	32,334.8

備考 埠頭荷扱所小口合計中連絡貨物 513.8 ナ含ム

品 目	單 位	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	
油 類 (表中記載ノモノヲ除ク)	發 著	4.1 8.5	2.0 0.8	0.1 23.0	— 0.2	— —	2.7 —	8.9 32.5
油	粕	142.4	—	184.4	—	—	—	326.8
肥 料 各 種	—	—	2.3	—	—	—	—	2.3
麥 稈 眞 田	—	—	—	—	—	—	—	—
安 平	—	26.1	0.1	—	—	—	—	26.2
粟 及 粟 科	—	75.2	—	—	—	—	—	75.2
—	—	16.6	—	—	—	—	—	16.6
鹽	—	—	—	—	—	—	—	—
砂 糖	—	544.5	6.0	21.3	—	59.6	—	631.4
日 本 酒	—	—	7.4 0.3	1.8 —	—	—	—	9.2 0.3
一 酒	—	—	0.8	0.2	—	—	—	1.0
支 那 酒	—	—	—	4.5	—	—	—	4.5
食 料 品 (表中記載ノモノヲ除ク)	—	1.9	5.0	—	—	—	—	6.9
—	—	6.0 1.3	24.3 11.1	0.3 —	—	15.0	0.1	45.7 12.4
乾 物	—	—	3.1	—	—	—	0.6	3.7
—	—	4.8	—	—	—	—	—	4.8
野 菜	—	3.0	6.6	—	—	—	—	9.6
—	—	1,333.9	4.1	32.4	—	26.6	—	1,397.0
鷄 卵	—	—	0.1	—	—	—	—	0.1
—	—	12.3	4.0	28.8	0.3	—	—	45.4
藍	—	—	—	—	—	—	—	—
染 料	—	—	0.3	—	—	—	0.5	0.8
—	—	85.0	0.4	135.0	0.2	89.7	—	310.3
藥 品 及 藥 材	—	7.6	2.4	—	—	77.5	0.2	85.7
—	—	—	0.3	—	—	—	—	0.3
曹 達	—	1.5	1.8	—	—	—	—	3.3
—	—	—	—	22.0	—	—	—	22.0
石 鹼	—	13.9	1.4	0.1	—	—	0.3	15.7
煙 草	—	111.8	32.7	—	—	—	501.8	646.3
—	—	—	1.5	—	—	—	—	1.5
葉 煙 草	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	0.1	0.2	4.6	—	55.3	—	60.2
茶	—	22.1	2.3	—	—	1.0	—	25.4
—	—	—	—	—	—	—	—	—
豚 毛	—	55.9	4.1	—	—	—	—	60.0

品 目	單 位	青 島 驛		大 港 驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
麥 粉	發着	—	0.6	15.1	—	—	—	15.7
		284.9	0.3	0.5	—	—	—	285.7
陶磁器及土器	"	9.3	1.2	—	—	—	—	10.5
	"	61.2	0.3	20.8	—	—	—	82.3
支那紙	"	81.3	2.5	3.1	—	—	—	86.9
	"	0.4	0.9	0.1	—	—	—	1.4
紙 (支那紙ヲ除ク)	"	6.9	1.4	—	—	—	0.1	8.4
	"	—	—	—	—	—	—	—
麻	"	0.9	1.0	—	—	—	—	1.9
	"	7.0	—	—	—	231.3	—	238.3
綿	"	1.8	0.5	19.2	—	30.0	—	51.5
	"	64.4	—	183.8	—	—	—	248.2
綿 布	"	217.0	3.9	—	—	44.5	—	265.4
	"	—	4.8	—	—	—	—	4.8
綿 絲	"	553.7	30.4	8.4	—	—	—	592.5
	"	—	0.1	144.0	—	—	—	144.1
綿 製 品	"	—	1.1	—	—	—	0.1	1.2
	"	0.2	0.4	—	—	—	—	0.6
絹 絲 (屑ヲ含ム)	"	3.1	0.5	—	—	—	—	3.6
	"	6.2	2.8	—	—	—	—	9.0
棗	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	367.5	0.1	38.7	—	—	—	406.3
梨	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
乾 柿	"	—	0.5	—	—	—	—	0.5
	"	120.3	1.1	41.0	0.6	—	—	163.0
胡 桃	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	4.3	—	—	—	—	—	4.3
蜜 柑	"	75.0	28.0	—	—	—	—	103.0
	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
瓜 及 西 瓜	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
瓜 子	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	0.4	—	—	—	—	0.4
果 實 (表中記載ノモノヲ除ク)	"	—	2.5	—	—	—	—	2.5
	"	63.5	1.0	—	0.2	—	—	64.7
石 油	"	—	0.3	1,069.2	—	1,026.8	—	2,096.3
	"	—	—	—	—	—	—	—
落 花 生 油	"	94.9	1.4	4,134.8	1.5	111.7	—	4,344.3
	"	—	—	—	—	—	—	—
豆 油	"	24.6	—	127.3	—	—	—	151.9
	"	—	—	—	—	—	—	—
絹 布 類	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	3.7	8.9	—	—	—	—	12.6
繭 (屑繭ヲ含ム)	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
牛 油	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	79.0	1.1	36.9	0.1	0.4	—	117.5

青島三驛發著貨物數量 (一月中)

(單位噸以下一位數類頭數)

品 目	發 著	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	
石 炭	發 著	35.0 562.5	— 0.3	— 105.0	— —	— 6,280.0	— —	35.0 6,947.8
コ ー ク ス	"	— 352.1	— 0.1	— 30.0	— 0.1	15.0 2,176.4	— —	15.0 2,558.7
煉 瓦 (瓦ヲ含ム)	"	— —	— —	— 4.9	— —	— —	— —	— 4.9
セ メ ン ト	"	17.7 74.8	1.8 —	7.6 28.8	— —	— —	— —	27.1 103.6
硝 子 板	"	— —	0.1 —	— —	— —	— —	— —	0.1 —
硝 子 製 品	"	— 131.0	1.9 0.2	— —	— —	— —	— —	1.9 131.2
桐	"	— 242.9	— —	— 595.1	— —	— —	— —	— 838.0
木 材 (板ヲ含ム)	"	60.7 —	3.3 0.7	2.7 437.6	— —	210.7 —	1.8 —	279.2 438.3
竹 及 割 竹	"	24.5 —	0.1 —	— —	— —	— —	— —	24.6 —
石 白	"	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
石 材 及 同 製 品	"	30.0 —	0.6 0.6	— —	— —	86.1 —	— —	116.7 0.6
鐵 板 鐵 製 品	"	8.8 4.3	10.9 1.3	3.0 —	— 0.2	78.1 160.4	1.2 —	102.0 166.2
鐵 鍋	"	0.1 2.3	0.1 —	— —	— —	— —	— —	0.2 2.3
石 灰	"	— 120.0	0.1 —	— —	— —	— 30.0	— —	0.1 150.0
古 鐵	"	68.7 90.0	— 0.5	— 104.3	— —	— —	— —	68.7 194.8
大 豆	"	44.8 0.2	— —	15.0 —	— —	— —	— —	59.8 0.2
豆 類(大豆ヲ除ク)	"	— 11.5	0.9 0.2	— —	— —	— —	— —	0.9 11.7
高 梁	"	12.1 —	— —	— —	— —	8.0 —	— —	20.1 —
小 麥	"	15.0 375.9	— 0.3	— 2,649.2	— —	— 2,448.3	— —	15.0 5,473.7
米	"	5.2 308.3	11.0 1.2	1.0 431.9	— —	— —	— —	17.2 741.4
穀 類(表中記載ノモノヲ除ク)	"	— 21.0	— 0.5	— 68.4	— —	7.0 0.5	— —	7.0 90.4
落 花 生	"	— 936.3	— —	— 2,063.0	— —	— 1,029.9	— —	— 4,029.2

品 目	單 位	上 海	芝 罘	大 連	其 他	合 計
雲 齋 (同)	正	—	—	—	—	—
土 布	擔	27	—	—	—	27
花 色 土 布	擔	—	—	—	—	—
綿 織 絲	擔	7,462	—	—	—	7,462
(雜 貨)	擔	—	—	—	—	—
砵 石	個	113	—	—	—	113
竹 筴	担	34,248	—	—	—	34,248
竹 筴	"	218	—	—	—	218
筴 筴	"	291	—	—	—	291
書 籍	"	149	—	—	—	149
蠟 燭	"	150	—	—	—	150
米	"	3	—	—	—	3
磁 石	"	—	—	—	—	—
紙 卷 煙 草	担	3,816	—	156	—	3,972
石 炭(撫順開平)	噸	—	—	—	—	—
紙 扇	個	—	—	—	—	—
小 麥 粉 機 械 製	担	7,313	—	—	—	7,313
夏 布 粗 製	"	3	—	—	—	3
同 精 製	"	—	—	—	—	—
藥 桐 油	"	1,114	—	1	—	1,115
紙 一 等 品	"	322	—	61	153	536
同 二 等 品	"	1,127	—	—	—	1,127
同 錫 箔	"	6,608	—	—	336	6,944
同 其 他	"	721	—	—	—	721
同 糖 三 蒸 及 絹 製 白 黃	"	20	13	—	—	33
同 糖 三 蒸 及 絹 製 白 黃	"	55	20	—	—	75
同 糖 三 蒸 及 絹 製 白 黃	雙 担	101	—	—	—	101
同 糖 三 蒸 及 絹 製 白 黃	担	220	—	—	—	220
同 糖 三 蒸 及 絹 製 白 黃	"	4	—	—	—	4
同 糖 三 蒸 及 絹 製 白 黃	担	27	—	—	—	27
同 製 品	斤 担	203	—	—	—	203
同 石 麥 砂 同 茶	"	26	—	—	—	26
同 石 麥 砂 同 茶	"	—	—	—	—	—
同 石 麥 砂 同 茶	"	—	—	—	—	—
同 石 麥 砂 同 茶	"	—	—	—	—	—
同 石 麥 砂 同 茶	"	136	6	—	—	142
煙 草 刻 品	"	19	—	—	—	19
木 製 品	"	31	—	—	—	31

品 目	單 位	日 本	露 國	英 國	香 港	其ノ他	大 連	上 海	其ノ他	合 計
藥豆	担	87	—	—	—	—	—	40	—	127
花生油	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
落梨鹽	〃	60,031	—	—	456	—	57,512	470	1,235	119,704
豚	個	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鹽	担	266,532	—	—	—	—	—	—	—	266,532
杏仁	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
瓜子	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
胡麻	〃	482	—	—	—	—	—	—	—	482
生絲白座	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同同白再機	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同同白機	〃	—	—	—	—	—	—	32	—	32
同同黃座	〃	—	—	—	—	—	—	4	—	4
同同黃再機	〃	—	—	—	—	—	—	40	—	40
同同黃機	〃	—	—	—	—	—	—	28	—	28
屑	〃	—	—	—	—	—	—	9	—	9
屑	〃	—	—	—	—	—	—	1	—	1
生絲製品	〃	1	—	—	—	—	14	105	—	120
山東絹綢	〃	12	—	—	—	—	—	61	—	73
犬皮	枚	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生牛皮	担	4,475	—	—	—	—	4	59	—	4,538
生羊皮	枚	—	—	—	—	—	—	10,016	—	10,016
麥稈真田色染モノ	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同班色モノ	〃	—	—	—	—	—	—	60	—	60
同白色モノ	〃	336	—	—	—	—	—	100	—	436
牛	〃	1,533	1,100	—	—	—	1,123	—	132	3,888
蔬菜	〃	—	585	—	—	—	—	1,026	—	1,611
豆	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
胡	〃	21	—	—	—	—	—	—	—	21
羊	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—

輸入支那品仕出地別 (同 上)

品 目	單 位	上 海	芝 罘	大 連	其 ノ 他	合 計
(綿製品類)						
シーチング(上海)	疋	1,840	—	—	—	1,840

品 目	單 位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
石 鹼	擔	62	—	—	—	—	—	80	—	142
同 化 粧	海關兩	586	—	—	—	—	3	—	—	589
曹 達	担	4	—	—	—	—	1	—	—	5
醬 油	"	166	—	—	—	—	—	15	—	181
砂 精 (赤)	"	—	—	—	9,472	—	—	—	—	9,472
同 (白)	"	4	—	—	264	—	434	861	—	1,563
同 精 製	"	—	—	—	9,350	—	8	1	—	9,359
同 冰	"	365	—	—	1,161	—	—	225	—	1,751
同 材 (堅)	立方呎	69	—	—	—	—	—	—	—	69
同 (軟)	"	62,030	—	—	—	—	—	38,803	—	100,833

輸 出 支 那 品 仕 向 地 別 (同 上)

品 目	單 位	日 本	露 國	英 國	香 港	其ノ他	大 連	上 海	其ノ他	合 計
生 豆	頭 担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
黃 豆	"	7,387	—	—	—	—	—	—	—	7,387
牛 肉	クオタ	6,913	12,276	—	—	4,446	664	36	—	24,335
獸 骨 塊	担	9,512	—	—	—	—	—	—	—	9,512
豚 毛	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
麩 帽	個	53	—	—	—	—	—	307	—	360
山 炭	噸	1,100	—	—	—	—	20	7,560	—	8,680
棉 花	担	3,863	—	—	—	—	20	—	—	3,883
錫 黑	"	—	—	—	—	—	—	69	—	69
蛋 白	"	—	—	—	—	—	—	226	—	229
蛋 黃	"	4	—	—	—	—	—	283	—	287
乾 蛋 卵	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鷄 個 担	個	3,000	—	—	—	—	—	—	—	3,000
麻 鹽	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
魚	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
果 物	"	—	10	—	—	—	—	103	—	113
硝 子	"	—	—	—	—	—	—	22	526	548
落 花	担	1	—	—	—	—	—	—	—	1
同 仁 髮	"	33,721	—	—	—	—	—	16,289	4,257	54,267
頭 簪	"	30	—	—	—	—	—	2	—	32
麥 帽	個	—	—	—	—	—	—	—	—	—

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
セ メ ソ ト	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本品)	〃	3,099	—	—	—	—	—	84	—	3,183
磁 石 瓦 器	海關兩	1,510	—	—	—	—	6	5	—	1,521
紙 卷 煙 草	千 本	—	—	25,300	—	—	12,498	—	—	37,798
同 (日本品)	〃	600	—	—	—	—	—	—	—	600
掛 置 時 計	個	486	—	—	—	—	—	24	—	510
石 炭	噸	844	—	—	—	—	—	—	—	844
(染料顏料塗料)										
ア ニ リ ン	海關兩	3,345	—	—	—	—	327	—	—	3,672
人 造 藍	担	7	—	—	—	—	—	—	—	7
天 然 藍 液 狀	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
白 鉛 粉	〃	34	—	—	—	—	—	—	—	44
ロ ソ グ ラ ー ド	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
越 幾 斯 料	海關兩	2,065	—	—	—	—	198	135	—	2,398
電 氣 材 料										
珪 瑯 洗 面 器	打	50	—	—	—	—	—	—	—	50
麥 粉	担	6	—	—	—	—	—	—	—	9
窓 硝 子	箱	160	—	—	—	—	—	14	—	174
洋 燈 及 洋 燈 器	海關兩	455	—	—	—	—	199	—	—	654
燐 寸 (黃 燐)	哥	128,884	—	—	—	—	—	—	4,100	132,984
同 (安 全)	〃	500	—	—	—	—	—	—	—	500
疊 及 莫 座	枚	2,710	—	—	—	—	—	—	—	2,710
コンデンスミルク	打	640	—	—	—	—	24	—	—	664
針	千 本	49,600	—	—	—	—	—	—	—	49,600
石 油 (米品箱入)	ガロン	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (裸)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (露國箱入)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (裸)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ス マ ト ラ (裸)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (箱入)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本箱入)	〃	50	—	—	—	—	—	—	—	50
同 (裸)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 紙	担	169	—	—	—	—	336	—	—	505
胡 椒	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
米	〃	956	—	—	—	—	—	—	—	656
昆 布	〃	1,492	—	—	—	—	—	—	—	1,492
日 本 酒	〃	572	—	—	—	—	—	21	—	593

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	計	合
綿織絲 (印 度)	担	3,000	—	—	—	—	75	—	—	—	3,075
同 (日 本)	"	3,319	—	—	—	—	348	—	—	—	3,667
綿 縫 絲(絲卷)	哥	550	—	—	—	—	—	—	—	—	550
(毛綿交織類)											
ユニオン及ボンチ ヨークローズ	碼	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(毛 製 品 類)											
綾 吳 呂	疋	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
羅 世 伊 多	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
伯林ウール及毛絲	担	3	—	—	—	—	8	—	—	—	11
(雜質織物類)											
絹 製 品 交 織	斤	279	—	—	—	—	—	—	—	—	279
(金 屬 品)											
片	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
線	"	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1
銅 板	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
鐵及軟鐵 (新)											
條	担	168	—	—	—	—	21	88	—	—	277
屑 鐵 及 屑 鐵 線	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
箍	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
橡	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
釘 用 竿 鐵	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ネール(ワイヤー)	"	212	—	—	—	—	116	60	—	—	388
片 及 板	"	16	—	—	—	—	36	—	—	—	52
線	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵 及 軟 鐵(古)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鍍 金 鐵 片	"	11	—	—	—	—	—	—	—	—	11
鉛 塊	"	—	—	—	—	—	60	—	—	—	60
鋼 鐵	"	3	—	—	—	—	—	13	—	—	16
葉 鐵	"	—	—	—	—	—	2,567	—	—	—	2,567
白 銅 片 及 線	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(雜 貨)											
麻 袋	"	20,600	—	—	—	—	—	—	—	—	20,600
麥 酒	"	400	—	—	—	—	—	—	—	—	400
綿 帶	"	3,833	—	—	—	—	381	673	—	—	4,887
パ タ ー	"	2	—	—	—	—	4	—	—	—	6
銅 鈕 釦 花 鈕 釦	哥	1,800	—	—	—	—	—	—	—	—	1,800
蠟 燭	担	—	—	—	—	—	441	2	—	—	443

青島輸出入貿易 (一月中)

—海關貿易統計—

輸入外國品仕出地別

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
精製阿片	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(綿製品類)										
生金巾	疋	5,890	—	—	—	—	780	7	—	6,677
シーチング(米品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	140	—	—	140
同 (日本品)	"	5,750	—	—	—	—	580	—	—	6,330
晒金巾	"	800	—	—	—	—	3,466	—	—	4,266
綾金巾	"	—	—	—	—	—	42	—	—	42
雲齋布(米品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
シエーン(米品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (和蘭品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	240	—	—	240
同 (日本品)	"	—	—	—	—	—	4,040	20	—	4,060
天竺布三十二吋	"	—	—	—	—	—	4,950	—	—	4,950
同 (日本品)	"	13,990	—	—	—	—	3,407	—	—	17,397
寒冷紗及綿紗	"	40	—	—	—	—	—	—	—	40
平織捺線染色各種	"	—	—	—	—	—	436	—	—	436
チンズ及平織更紗	"	—	—	—	—	—	120	—	—	120
フリンテッド	"	—	—	—	—	—	280	—	—	280
フソーネチュワー	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
捺線綿襪子	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
捺線天竺布	"	—	—	—	—	—	4,160	—	—	4,160
コットンイタリ	"	9,010	—	—	—	—	8,075	90	—	17,175
ン及ラッスイング	"	—	—	—	—	—	1,812	—	—	1,812
イーズトブラック	"	—	—	—	—	—	278	—	—	278
同平織染色	"	—	—	—	—	—	1,360	—	—	1,360
同綾	"	—	—	—	—	—	3,155	—	—	7,475
緋金巾及綿天竺布	"	4,320	—	—	—	—	—	—	—	—
綿スパニシストラ	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
イブ六十四吋	"	173	—	—	—	—	390	—	—	563
綿フランクネル	"	480	—	—	—	—	—	—	—	480
同フランクット	"	615	—	—	—	—	5	—	—	620
手巾	打	—	—	—	—	—	—	—	—	—
タオル	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本品)	"	100	—	—	—	—	—	—	—	100

自大正四年
至同七年

青島埠頭陸上船積貨物數量

(單位噸以下一位)

青島實業協會月報
第拾五號

月	別	輸入 輸出	大正四年	大正五年	大正六年	大正七年	計
一	月	輸入	10,573.0	15,939.0	32,193.7	37,569.7	96,275.4
		輸出	2,292.0	27,605.0	27,762.9	52,203.9	109,863.8
二	月	同	11,665.0	21,305.0	24,670.7	30,230.0	87,870.7
		同	5,946.0	18,835.0	28,264.6	41,659.5	94,705.1
三	月	同	17,403.0	20,477.0	44,719.6	38,328.1	120,927.7
		同	14,052.0	28,823.0	42,079.4	54,833.6	139,788.0
四	月	同	15,396.0	15,491.0	38,744.1	30,526.3	100,157.4
		同	12,403.0	15,268.0	36,694.5	44,272.9	108,638.4
五	月	同	10,778.0	15,215.0	41,951.1	30,888.2	98,832.3
		同	23,367.0	34,647.0	38,948.0	35,134.5	132,096.5
六	月	同	11,092.0	11,121.0	29,875.3	25,228.0	77,316.3
		同	12,999.0	12,241.0	39,417.8	43,467.8	108,125.6
七	月	同	15,280.0	25,376.0	24,879.2	28,066.8	93,602.0
		同	8,980.0	19,968.0	39,177.9	40,070.7	108,196.6
八	月	同	16,922.0	16,887.0	34,834.4	27,600.3	96,243.7
		同	18,413.0	17,669.0	31,821.5	37,626.0	105,529.5
九	月	同	19,031.0	27,013.0	29,232.0	18,837.7	94,113.7
		同	20,955.0	22,295.0	28,001.5	31,775.1	103,026.6
十	月	同	11,654.0	27,059.0	31,690.5	23,891.7	94,295.2
		同	20,583.0	28,869.0	33,816.8	46,311.8	129,580.6
十一	月	同	16,574.0	19,154.0	21,429.3	25,063.5	82,220.8
		同	13,136.0	26,254.0	32,440.0	83,500.6	155,330.6
十二	月	同	25,105.0	28,509.0	32,163.3	39,041.3	124,818.6
		同	23,960.0	42,262.0	63,340.7	101,383.8	230,946.5
合	計	同	181,473.0	243,546.0	386,383.2	355,271.6	1,166,673.8
		同	177,086.0	294,736.0	441,765.6	612,240.2	1,525,827.8

備考 大正七年中船積貨物中船用石炭ヲ除ク

(定不序順)

青島實業協會員

大正八年參月現在

會 員		代 表 者	所 在	會 員	代 表 者	所 在
岩 城 商 會 支 店	田邊郁太郎	早舟町	江商株式會社 青島支店	田邊政次郎	所澤町	
伊藤忠商事株式會社青島支店	淵田太郎	所澤町	安部幸兵衛商店 青島出張店	副島高市	河南町	
原田汽船株式會社青島支店	川畑竹馬	所澤町	湯淺貿易株式會社 青島出張所	小林 乃	葉櫻町	
日本郵船株式會社青島出張事務所	近澤武男	葉櫻町	三井物產株式會社 青島出張所	飯塚重五郎	所澤町	
日本綿花株式會社 青島出張所	林田 男	北京町	南滿洲鐵道株式會社 青島出張所	內 九 男	葉櫻町	
東 和 公 司 青 島 支 店	三宅駿二	北京町	峯 村 洋 行	峯村正三	葉櫻町	
東亞煙草株式會社 青島販賣所	西村義郎	北京町	合名會社鈴木商店 青島出張所	金子慶治	北京町	
朝 鮮 銀 行 青 島 支 店	片桐篤太郎	所澤町	中 村 組 青 島 支 店	原 辰治	吳淞町	
大倉商事株式會社 青島出張所	石橋藤次郎	早舟町	和 盛 公 司	石本貫一	若葉町	
橫濱正金銀行 青島出張所	太田保一郎	靜岡町	東洋鹽業株式會社 青島支店	秋元定恭	大和町	
大連汽船株式會社 青島出張所	松本文三郎	葉櫻町	泰 利 商 會	松崎 翠	早霧町	
大日本麥酒株式會社 青島出張所	永井熙八	臺東鎮良通市外四方庄	山 東 興 業 株 式 會 社	空閑知鷺治	早舟町	
內 外 綿 株 式 會 社 青 島 出 張 所	佐々木國藏	市外四方庄	吉 澤 洋 行	吉澤干城	市場通	
山 田 出 張 所	山田三平	北京町	青島製粉株式會社支店	百 溪 深	三月月町	
三菱商事株式會社濟南出張所	關口嘉重	市場通	新 利 洋 行 出 張 所	古賀茂登吉	野山町	
茂木合名會社青島出張所	杉浦政芳	葉櫻町	梶 野 洋 行	合田幸一	河南町	
神戸棧橋株式會社 青島派出所	河南 薰	早舟町	福昌公司 青島出張所	千本木正治	若葉町	
山東運輸株式會社 青島支店	神谷武松	葉櫻町	南昌洋行 青島出張所	中村道三	葉櫻町	

大正七年八月十九日第三種郵便物認可

每月一回二十日發行

發行兼編輯者
發行所
印刷所
印刷人

青島靜岡町十二番地	吉見正任
青島靜岡町十二番地	青島實業協會
青島靜岡町十四番地	青島新報社
青島靜岡町十四番地	足立孝

(實費銀參拾錢)